

大阪府立中央図書館 蔵書評価（報告）

平成 28 年 3 月

中央図書館 資料情報課

はじめに

大阪府立図書館（以下「府立図書館」）は、府域の図書館ネットワークの核として、広域のかつ総合的な視点から府民と資料・情報をつなぎ、府民の“知りたい”という気持ちにこたえ、“学びたい”という意欲を育み、豊かで活気ある暮らしと大阪における新たな知識と文化の創造に寄与すること、という「使命」の下に 5 つの基本方針を掲げ、その〈基本方針 2〉を、

大阪府立図書館は、幅広い資料の収集・保存に努め、すべての府民が正確な情報・知識を得られるようサポートします。

としている。すなわち蔵書構築がサービスの基盤であるという認識のもと、資料収集方針に基づき、府域の中核的図書館として府民への直接サービスを行うとともに、府域市町村立図書館のバックアップのための資料収集および蔵書構築に取り組んできたところである。

この蔵書構築の取組みを評価するものとして、来館者アンケートによる「蔵書満足度」を指標のひとつとして用いているが、府域図書館のバックアップといった府立図書館固有の役割を反映した蔵書評価としては、これだけでは十分とは言えない。そこで、平成 25 年度から 27 年度にかけての大阪府立図書館第二期活動評価の中で蔵書評価に取り組むこととし、大阪府立中央図書館（以下「中央図書館」）の蔵書について多角的に検討し、分析を行った。本報告は、主に平成 26 年度・27 年度にかけて行った調査・分析を報告するものである。

本報告は、1. 蔵書の概要 2. 受入図書分析 3. 利用状況分析 4. 分野ごとの資料評価の 4 部で構成されている。

1 では中央図書館所蔵資料の特徴（傾向）および評価の前提となる現状を概観するため、平成 8 年の中央図書館開館時と平成 26 年度末の蔵書冊数を確認し（1.1）、他府県立図書館との蔵書構成の比較（1.2）や、国立国会図書館レファレンス協同データベースで公開されている参考資料と中央図書館所蔵状況との比較分析（1.3）を行った。

2 では平成 24 年度～26 年度に受け入れた日本語図書（児童書を除く）の特徴（傾向）を確認するため、購入分（2.1）と寄贈分（2.2）の別に分析するとともに、平成 26 年度に購入した図書について府内市立図書館 5 館との比較分析を行った（2.3）。

3 では利用状況の分析として、出版年からみた中央図書館における貸出図書の分析（3.1）、中央図書館で受け入れた資料の平成 23 年度～25 年度の累積貸出回数による分析（3.2）、複写利用状況の分析（3.3）を行った。

さらに4では、収集資料の質的評価を行うため、「法情報」分野の外部リストとの比較による所蔵資料調査および外部有識者による評価（4.1）、および「医療情報」分野における外部リストや他館作成パスファインダーとの比較による所蔵資料調査および外部有識者による評価（4.2）を実施した。

【内容】

はじめに

1. 蔵書の概要

1.1 中央図書館の蔵書について

1.2 他府県との比較からみた蔵書の現況（平成25年度）

（1）分類別所蔵冊数

（2）受入図書に占める購入と寄贈の割合

1.3 参考資料の所蔵状況

2. 受入図書の分析

2.1 購入図書の分析（平成24年度～26年度）

（1）購入冊数・価格と出版点数・価格の比較（全体）

（2）購入冊数・価格と出版点数・価格の比較（分類別）

2.2 寄贈図書の分析（平成24年度～26年度）

（1）寄贈図書の割合と流通形態

（2）寄贈者の分析

2.3 府内市立図書館における購入図書との比較（平成26年度）

（1）府立図書館と市立図書館の購入図書の比較

（2）府立図書館と市立図書館で重複購入している図書

3. 利用状況の分析

3.1 出版年からみた貸出図書の分析

3.2 累積貸出回数による分析（平成23年度～25年度）

（1）貸出回数0回の分類内訳

（2）購入年度別 貸出回数別の冊数（帯出区分が「貸出可」の資料）

3.3 複写利用状況の分析（平成27年度上半期）

4. 分野ごとの資料評価

4.1 法情報分野の資料評価

（1）「法律図書総目録2014」掲載図書の所蔵調査

（2）外部有識者による評価

4.2 医療情報分野の資料評価

（1）外部で作成された資料リストによる蔵書分析

（2）外部有識者による評価

おわりに

1. 蔵書の概要

1.1 中央図書館の蔵書について

中央図書館は、大阪府立中之島図書館（以下「中之島図書館」）旧蔵書約 49 万冊、大阪府立夕陽丘図書館旧蔵書約 58 万冊の合計約 107 万冊の蔵書を受け継いで平成 8 年 5 月に開館した。開館 19 年後の平成 27 年 3 月末現在の蔵書は、一般図書約 183 万冊、児童書約 15 万冊の合計約 198 万冊となっている。19 年間の増加率はおよそ 185%である。

これは、中央図書館が資料保存機能と府城市町村図書館支援機能を重視するという収集方針に沿って、図書は基本的に永年保存として収集に努めてきたことによるものである。

なおこの数字には、平成 22 年度に吹田から中央図書館に移転した国際児童文学館の蔵書は含まない（以下、本報告を通して同様である）。（【表 1】参照）

【表 1】

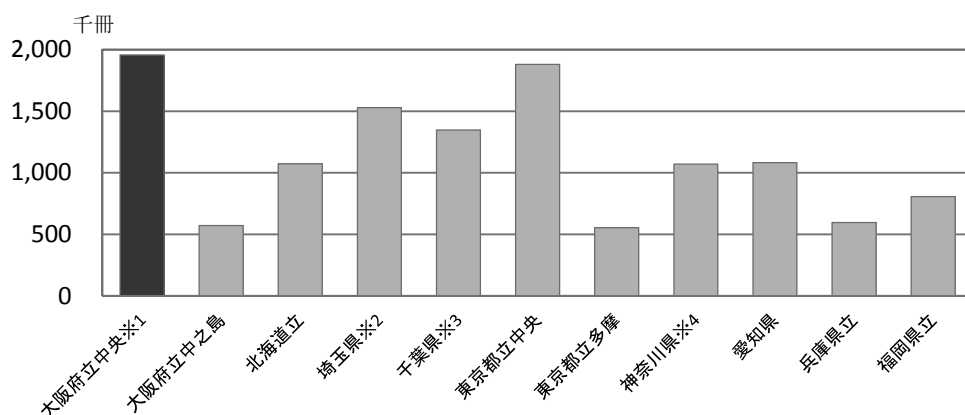
* 概数（単位：冊）

	平成8年5月(a)	平成25年3月末	平成26年3月末	平成27年3月末(b)	増加率(b/a)
一般図書	1,000,000	1,780,000	1,810,000	1,830,000	183%
児童書	70,000	142,000	147,000	150,000	214%
計	1,070,000	1,922,000	1,957,000	1,980,000	185%

1.2 他府県との比較からみた蔵書の現況（平成 25 年度）

平成 26 年 3 月 31 日現在の蔵書数は、1,957,349 冊であり、1 館あたりの蔵書数としては、全国の都道府県立図書館中で最多である。また都道府県としても、府立図書館の蔵書はもう 1 館の中之島図書館と合わせて 2,583,000 冊で、東京都立図書館の 2 館合計 2,435,000 冊を上回り、全国 1 位となっている。

【グラフ 1】人口 500 万以上の府県立図書館蔵書冊数（平成 26 年 3 月 31 日現在）



* 『日本の図書館 2014』（日本図書館協会）より

※1 大阪府立中央は、国際児童文学館を除く ※2 埼玉県は浦和、熊谷、久喜の県立 3 館合計

※3 千葉県は中央、西部、東部の県立 3 館合計 ※4 神奈川県は、県立、県立川崎の 2 館合計

他の府県立図書館と比較した中央図書館の蔵書の特徴を、いくつかの観点から確認する。

(1) 分類別所蔵冊数

人口 500 万以上の府県立図書館における分類別所蔵冊数は、表 2 のとおりである。

- ・府立図書館は、全分野を扱う中央図書館に対し、中之島図書館はビジネス支援、大阪資料・古典籍に特化しており、その分担が分類別割合に表れている。
- ・分担収集を行っている東京都立多摩、神奈川県立川崎は所蔵分類に顕著な特徴が現れているほか、大阪府立中央は他館に比べてやや 3 類が多いことが分かる。

【表 2】人口 500 万以上の府県立図書館の蔵書冊数（分類別）平成 26 年 3 月 31 日現在

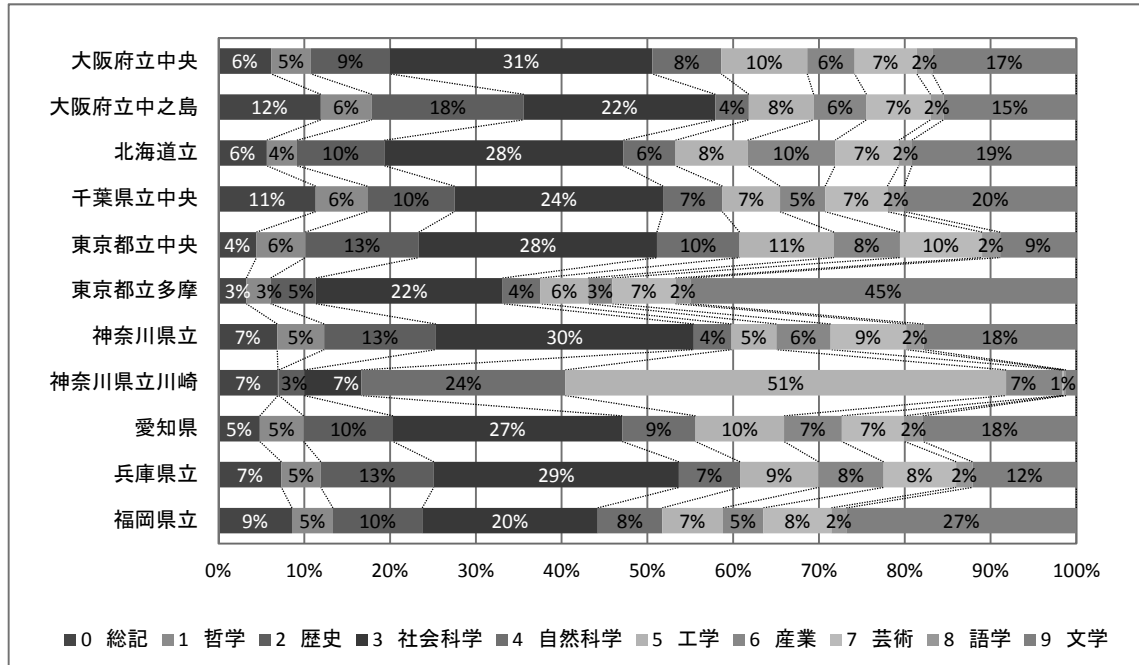
	大阪府立 中央	大阪府立 中之島	北海道立	千葉県立 中央	東京都立 中央	東京都立 多摩
0 総記	104,007	56,498	55,002	73,272	52,539	9,736
1 哲学	78,162	28,211	34,203	39,097	67,444	8,482
2 歴史	155,816	83,902	99,553	65,697	157,001	15,720
3 社会科学	516,877	105,833	271,964	157,205	329,372	65,088
4 自然科学	135,960	18,528	59,209	44,770	114,038	13,160
5 工学	169,417	35,826	82,147	43,483	130,520	16,714
6 産業	93,177	29,156	99,454	34,017	91,196	8,319
7 芸術	122,649	35,346	72,600	47,040	113,592	22,092
8 語学	30,445	7,192	14,760	12,651	24,951	5,146
9 文学	283,919	73,365	187,026	129,778	105,451	134,520
合計	1,690,429	473,857	975,918	647,010	1,186,104	298,977

	神奈川県立	神奈川県立川崎	愛知県	兵庫県立	福岡県立
0 総記	40,330	15,053	50,325	43,760	62,155
1 哲学	32,128	292	53,663	27,373	34,746
2 歴史	76,635	6,407	108,920	78,493	75,517
3 社会科学	176,778	14,447	279,333	170,300	148,347
4 自然科学	25,873	51,718	89,504	42,549	54,574
5 工学	30,647	111,684	107,980	54,541	51,316
6 産業	37,220	14,326	70,461	45,125	34,217
7 芸術	51,843	328	76,400	50,421	57,626
8 語学	11,848	536	22,227	11,336	12,576
9 文学	104,775	2,626	187,287	72,224	194,569
合計	588,077	217,417	1,046,100	596,122	725,643

*各館「要覧」「事業概要」より作成。児童書、郷土資料、雑誌など、館によって分類別冊数に含まれないカテゴリが存在するため、表の合計欄の数値と全蔵書数とは一致しない。東京都立（中央・多摩）は、日本語一般書の冊数（外国語図書を含まない）。人口 500 万人以上の都道府県のうち、埼玉県立は、

分類別所蔵冊数が示されていないため表に含めていない。

【グラフ 2】人口 500 万以上の府県立図書館蔵書冊数の分類別割合



※データは【表 2】による

(2) 受入図書に占める購入と寄贈の割合

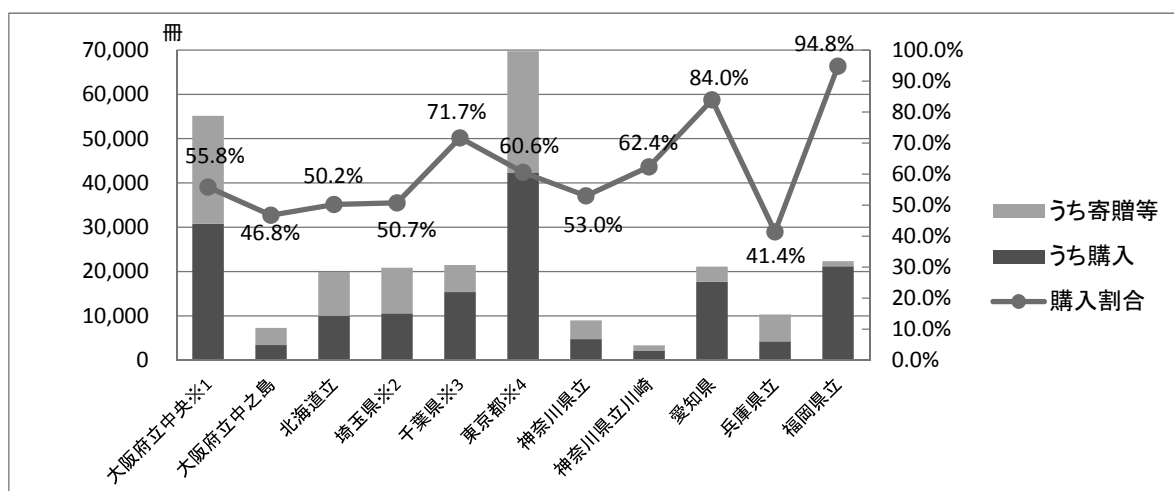
人口 500 万以上の府県立図書館における平成 26 年度受入図書に占める「購入」と「寄贈等」の割合は、【グラフ 3】のとおりである。「日本の図書館」調査項目は「受入冊数」「うち購入」の 2 項目であるため、購入以外の受入を寄贈等によるものと仮定した。

受入冊数に占める購入冊数の割合は、50%台の館が 4 館（大阪府立中央、北海道立、埼玉県、神奈川県立）と最も多いが、兵庫県立の 41.4%から福岡県立の 94.8%までかなり幅があることがわかる。上記の中では大阪府立中央の購入割合はちょうど中間に位置している。

一方、寄贈等による受入実数を比較すると、大阪府立中央（24,356 冊）は東京都立 2 館合計（27,505 冊）に次いで第 2 位、大阪府立 2 館合計（28,245 冊）では全国第 1 位となっている。

単年度の比較ではあるが、中央図書館の購入割合は年度毎にさほど大きな変動はないため、中央図書館の蔵書規模が大きいのは、購入のみならず寄贈等の受入の多さにもよることが分かる。

【グラフ3】人口500万以上の府県立図書館受入図書に占める購入割合（平成25年度）



* 『日本の図書館 2014』（日本図書館協会）より

※1 大阪府立中央は、国際児童文学館を除く ※2 埼玉県は浦和、熊谷、久喜の県立3館合計

※3 千葉県は中央、西部、東部の県立3館合計 ※4 東京都は、中央、多摩の2館合計

1.3 参考資料の所蔵状況

蔵書評価について大阪府立図書館協議会活動評価部会の委員から、「中央図書館の参考資料の所蔵状況を、他館のレファレンス事例で使用されている参考資料と比較してみることも、中央図書館の現在の客観的な「位置」を確認するための一つの方法ではないか？」とのアドバイスを頂いた。そこで、国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築している「レファレンス協同データベース」から7都道県立図書館計10館の事例の参考資料を抜き出し、中央図書館の所蔵と比較分析を行った。

【表3】レファレンス事例数・のべ資料数（平成27年10月現在）

事例作成館	レファレンス事例数	のべ資料数	
愛知県	20	109	* 事例作成日： 平成22年4月1日 ～平成27年3月31日
神奈川県立	142	773	
神奈川県立川崎	101	354	* 内容種別： 「郷土」以外すべて
千葉県立西部	28	98	
千葉県立中央	193	791	
千葉県立東部	45	173	* 「参考資料(Reference materials)」欄が空欄の場合は、「回答(Answer)」の中から資料名を抜き出した。
東京都立中央	67	335	
福岡県立	364	1,592	
兵庫県立	1	12	
北海道立	188	1,127	
合計	1,149	5,364	

本項では【表3】のべ資料数5,364のうち、ISBNが判明し重複を削除した2,491タイトルを調査対象とした。(回答内にISBNの記載がない場合、事例作成館OPACや各種データベースによりISBNを確認した。)

① 調査方法と結果

- i 調査対象資料2,491タイトルのISBNを中央図書館所蔵データと機械的に突合した結果、同一ISBNの図書2,015冊(80.9%)を所蔵。【表4】A)
 - ii iで同一ISBN資料の所蔵がなかったものについて、ISBN以外の条件で所蔵調査をしたところ、
 - ・ISBNの誤植または書誌データにISBNの記載なし
 - ・販売品(ISBNあり)と非流通品(ISBNなしまたは異ISBN)の違い
 など、ISBNは不一致だが同一内容の図書を35冊(1.4%)所蔵。【表4】B)
 - iii ISBNは異なるが同内容の元版を64冊(2.6%)所蔵、異なる出版者等から発行された異版を6冊(0.2%)所蔵。【表4】C,D)
- i、ii、iii合計で2,120冊(85.1%)を所蔵していることが分かった。

【表4】所蔵調査結果一覧

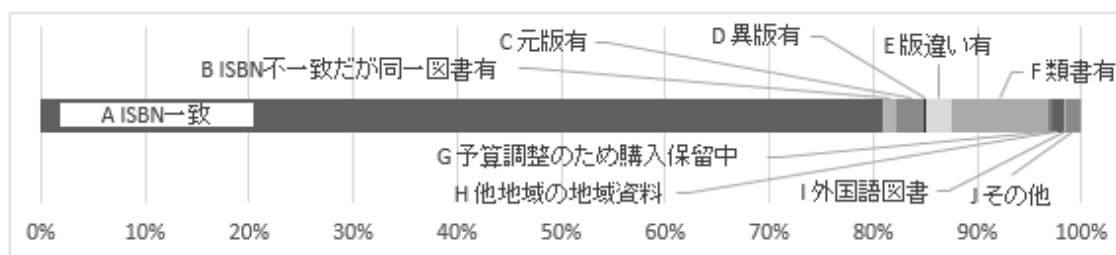
		冊数	割合	内容の同一性
A	ISBN一致	2,015	80.9%	○
B	ISBN不一致だが同一図書有	35	1.4%	○
C	元版有	64	2.6%	○
D	異版有	6	0.2%	○
小計(A-D)		2,120	85.1%	
E	版違い有	59	2.4%	△
F	類書有	231	9.3%	△
小計(A-F)		2,410	96.7%	
G	予算調整のため購入保留中	9	0.4%	
H	他地域の地域資料	29	1.2%	
I	外国語図書	5	0.2%	
J	その他	33	1.3%	
K	中之島図書館に有(元版、版違い含む)	5	0.2%	○(△)
合計(A-K)		2,491	100.0%	

【表4】具体例および解説

- B: 『漁業センサス』(販売分出版者は農林統計協会、非流通分出版者は農林水産省大臣官房統計部)
- C: 『安政江戸地震災害誌』(佐山守著 海路書院 2004刊)は、東京都総務局行政部 1973年刊初版を所蔵。
- D: 『樞ノ木は残った』上巻 山本周五郎著 新潮社 1989刊は、同出版者『山本周五郎全集』1982刊『山本周五郎長篇小説全集』2009刊のほか、出版者違いのものも所蔵。

- E: 『地球の歩き方リゾート 317』(地球の歩き方編集室//編集ダイヤモンド・ビッグ社 2004 刊) は、2002、2006 刊と、シリーズ番号変更後の 2012 刊を所蔵。
- F: 『日本童謡唱歌大系全 6 巻』(東京書籍 1997 刊) は、類書の『童謡唱歌名曲全集全 10 巻』(名著出版 1989 刊) を所蔵。
- G: 『日系移民資料集 第 4 期』(日本図書センター) は第 2 期まで購入済
- H: 郷土レファレンスは調査対象から除外したが、地域性の高い事例が一般事例として登録されていた。
(『迷ったときの医者選び福岡』(南々社 広島 2003 刊) 『北海道教育雑誌』(北海道教育委員会) など)
- I: 外国語図書 5 点のうち 1 点は、事例作成館でも未所蔵のため、国立国会図書館の所蔵を紹介。
- J: 『学研ハイベスト教科事典』(学研 2010 刊)、『小学生のための読解力をつける「読書紹介文」ノート』(書き込み式: 中島克治著 小学館 2010 刊) など学習参考書、書き込み式ワークブック等、中央図書館では収集対象外の資料を含む。

【グラフ 4】所蔵調査結果一覧



※データは【表 4】による

② 調査結果の分析

分析の結果をみると、ISBN が一致する資料で約 80%、ISBN が一致しなくても版違いや類書等、内容的にカバーできると考えられる資料まで含めると、他館のレファレンス事例で引用されていた資料の約 97%を中央図書館で所蔵しており、他館と比較しても十分な参考資料を所蔵していると考えられる。

今回は、機械的に書誌同定するための条件として、最も共通する可能性の高い ISBN を用いたが、ISBN が付いている図書であってもレファレンス事例の回答に ISBN が記載されていないものが散見された。そこでまず、抜き出した参考資料の ISBN を調査したが、各事例作成館の目録方法の違いなどにより、書誌同定が難しいケースがあり、相当の調査時間を必要とした。ISBN 導入前の刊行物や、出版年が新しくても ISBN の付与されていないものも多数あり、所蔵調査や資料同定の難しさが改めて浮き彫りになった。

他館の事例で引用されていた資料のうち未所蔵の資料が一部あったが、「ある特定の資料を所蔵していないこと」が必ずしも当該質問に対して「中央図書館で回答不能」となるわけではないことにも留意する必要がある。

たとえば、中央図書館では収集対象外である学習参考書が他館の回答の中で用いられた事例に、「児童書で、旧かなづかいと現代かなづかいの違いについて書かれている本はあるか。」という質問があった。回答であげられた6タイトルのうち、中央図書館では、学習参考書『学研ハイベスト教科事典』を除く5タイトルを所蔵しており、この5タイトルにより一定の回答が可能であることが確認できた。

このほか、楽譜や歌詞に関する調査相談については、回答の多くがウェブサイト「楽譜ネット」を参照し、該当の情報が掲載されている資料名を特定したのち、自館で所蔵していない場合は他館の所蔵を紹介している。また、「特定の主題の小説にどのようなものがあるか」といった質問の場合、事例作成館で所蔵しているかどうかは、必ずしも焦点ではないため、質問者の意図を汲み、資料名リストを回答する際には、事例作成館で未所蔵の資料も含まれることもあり得る。例えば中央図書館が未所蔵の資料を用いて回答されていた、「お菓子が大事な要素として登場する小説を紹介してほしい。」という質問に対しては、事例作成館と同様の資料名リストの作成が可能である。

また質問によっては、事例作成館では未所蔵のため回答に使用されなかった資料を中央図書館では所蔵しており、回答可能という可能性もあることを考えると、中央図書館は回答に必要な参考資料をほぼ遜色なく所蔵していると言えるであろう。

2. 受入図書の分析

2.1 購入図書の分析（平成 24 年度～26 年度）

近年受け入れた資料について検証するため、平成 24 年度～26 年度に中央図書館で購入した日本語一般図書（児童書を除く日本語図書）について分析を行った。

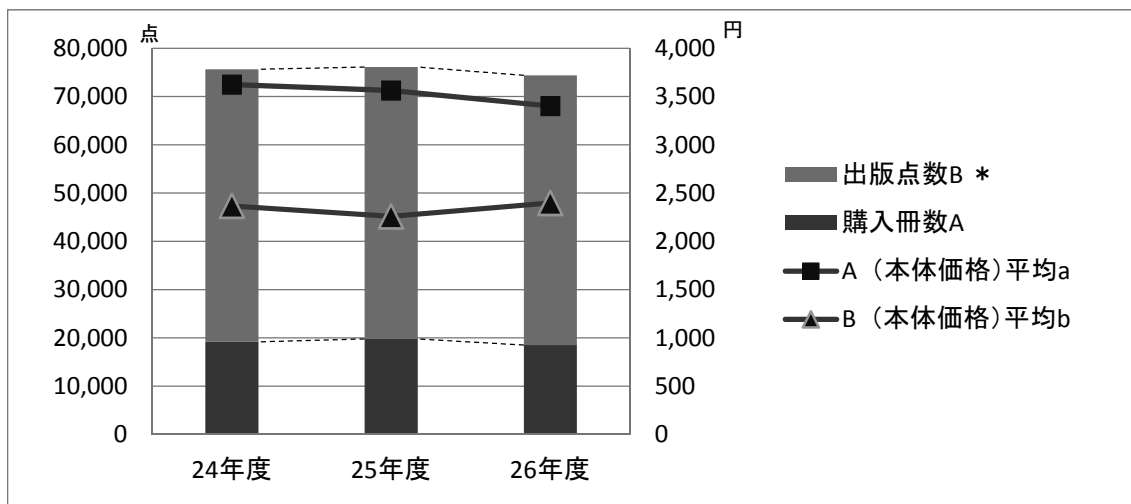
（1）購入冊数・価格と出版点数・価格の比較（全体）

【表 5】平成 24-26 年度に中央図書館で購入した日本語一般図書

	24 年度	25 年度	26 年度
購入冊数（冊） A	19,178	19,783	18,513
本体価格 合計（円）	69,487,320	70,465,195	62,954,289
本体価格 平均（円） a	3,623	3,562	3,401
a の指数 (H24=1)	1.00	0.98	0.94
出版点数（点） B *	75,643	76,097	74,381
本体価格 平均（円） b	2,367	2,258	2,397
b の指数 (H24=1)	1.00	0.95	1.01
a/b	1.53	1.58	1.42
新刊カバー率 (A/B)	25.4%	26.0%	24.9%

* 出版点数 B、平均価格 b は『出版年鑑 2015』より。B は児童書・学習参考書を除く。

【グラフ 5】平成 24-26 年度に中央図書館で購入した日本語一般図書



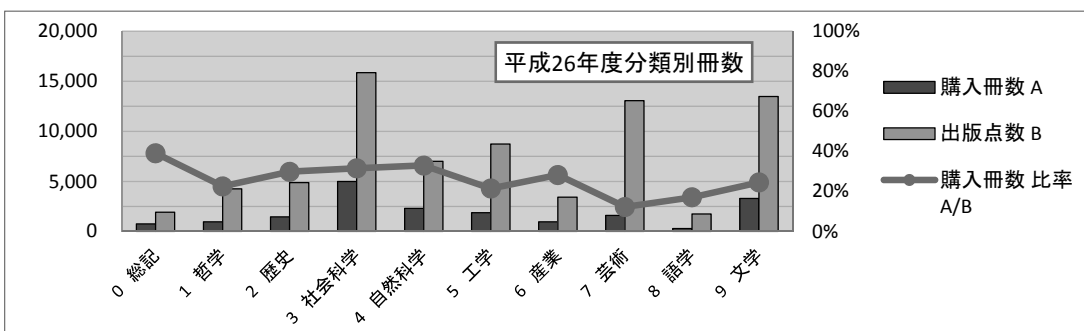
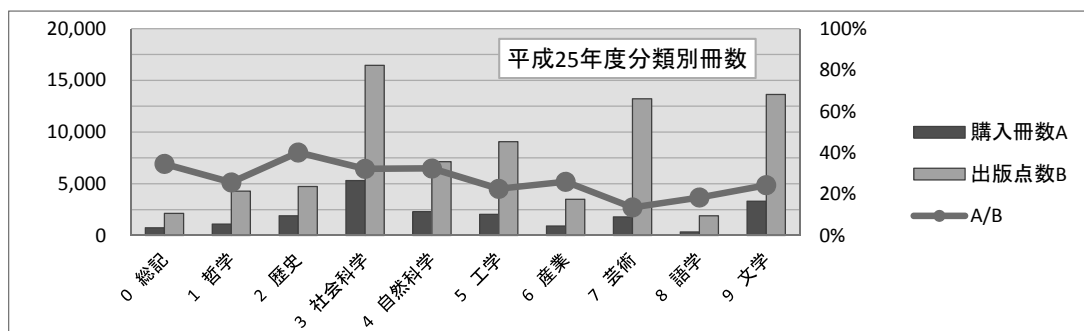
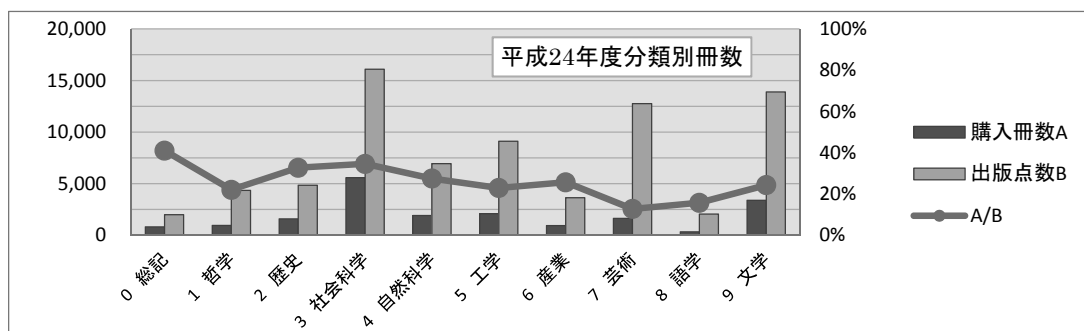
- ・平成 24～26 年度の（児童書・学習参考書を除く）出版点数 B は、平成 25 年度をピークに 24 年度、26 年度の順に少ないが、平均本体価格 b は逆に平成 25 年度が最も低く、24 年度、26 年度の順に高い。
- ・この間、中央図書館で購入した図書の平均本体価格 a は年度毎に下がっている。

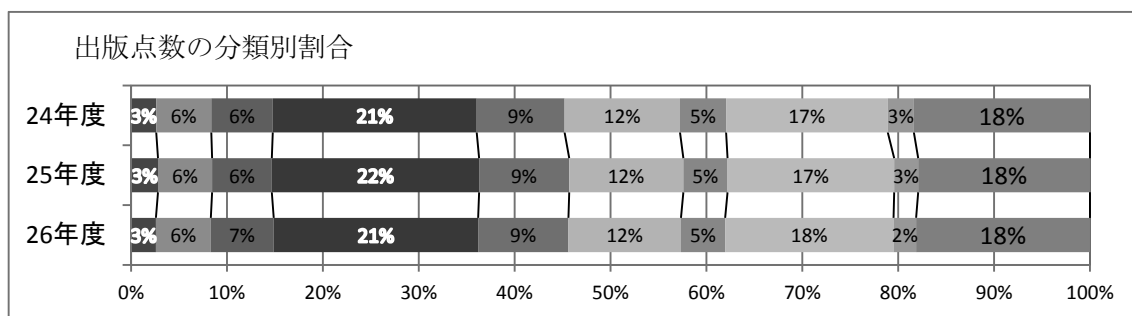
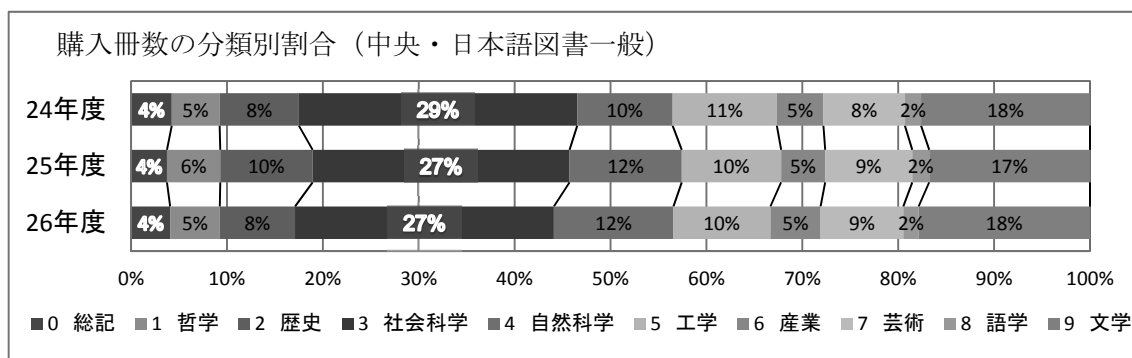
- ・また購入分の平均本体価格 a は、全出版点数（ただし児童書・学習参考書を除く）の平均本体価格 b の 1.4～1.5 倍強である。これは中央図書館が収集方針に沿って比較的高額な参考図書や専門書類の収集に努める一方、低価格の文庫本、新書、実用書、コミック等の購入を抑えている結果が反映されたものと考えられる。
- ・新刊カバー率は各年度の資料購入費および入札による納入価格率の双方に影響されるが、やはり毎年のシーリングによる資料購入費減額の影響は大きく、26 年度が最も低い結果となった。以上についてさらに詳細に検討するため、(2)では分類別での分析を試みた。

(2) 購入冊数・価格と出版点数・価格の比較（分類別）

① 購入冊数と出版点数の比較（分類別）（平成 24 年度～26 年度）

【グラフ 6】中央図書館で購入した日本語一般図書の冊数と出版点数（分類別）





（【グラフ6】の数値データは【巻末表①】参照）

<前提>

- ・可能な限りオリジナルなコンテンツを幅広く収集するため、貸出可能な元版（旧版）等を所蔵している場合は、新装版、復刻版、文庫等は購入しない。また、内容がほとんど変わらない改訂版、新版等は購入を見送ることが多い。
- ・学生向け教科書として出版されたもの、問題集およびコミックは基本的に収集対象外である。

<購入比率が高い分野>

- ・分類別出版点数 B に占める購入冊数 A の比率 (A/B) を比較すると、平成 24、26 年度は 0 類「総記」が最も高く、平成 25 年度は 2 類「歴史」が最も高い。
- ・3 年間を通じて 0 類、3 類「社会科学」が 30% 超と高く、さらに平成 25、26 年度は 4 類「自然科学」が 3 類をやや上回っている。
- ・平成 24、25 年度は 2 類も 30% 超と高かったが、26 年度はわずかに 30% を下回った。
- ・0 類のうち特に「情報科学」に関しては、急速に進展する情報通信技術の動向や、それらの社会的受容に関する図書など、利用者からの希望も多いため、意識して新刊を購入している。また、図書館や書誌学、出版関係のものや目録類は積極的に収集している分野である。
- ・2 類は参考図書、専門書を積極的に購入しているほか、住宅地図等を毎年継続して購入している。一方、ガイドブックは発行点数・種類とも多いため例年は購入タイトルを厳選して収集しているが、平成 25 年度は新しいシリーズをセット購入したことが、購入比率のアップにつながった。

- ・3類は中之島図書館が購入するビジネス関係資料がとくに多い分野であり、基本的に複本を購入せず、府立2館を通じて1冊のみ購入するという方針に沿って、実務書はなるべく中之島図書館で購入し、研究書は中央図書館で購入するという緩やかな分担収集を行っている。
- ・3類のうち学習指導や教科別教育方法等に関わるものは、積極的には購入していない。
- ・なお、平成25,26年度は4類の購入比率が30%を超えている。これは、25年度に医学分野の基礎的な資料である「診療ガイドライン」をまとめて購入したことや、25年度以降、旧版発行から5年程度を目安に、医療情報分野における既所蔵資料の更新に努めたことが影響していると考えられる。

<購入比率が低い分野>

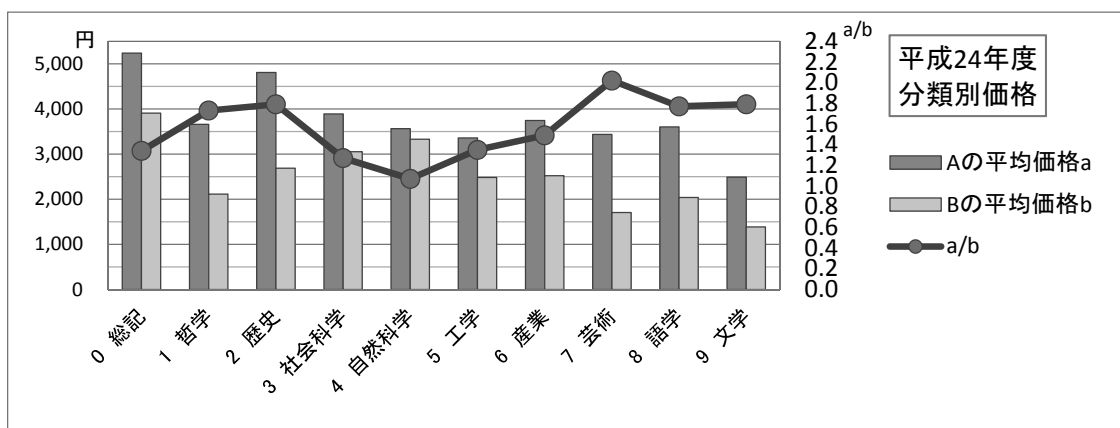
- ・3年間を通じて購入比率が最も低いのは7類「芸術」、その次が8類「言語」である。
- ・7類「芸術」にはコミックが含まれるが、収集方針に基きほとんどが収集対象外である。また、類書を所蔵していれば購入を見送るケースが比較的多く、とくに趣味に関する実用書は府域の市町村立図書館での購入実態を考慮して購入を控えるようにしている。なお、楽譜は基本的に収集対象外である。
- ・8類「言語」は、数多く出版されている外国語学習方法等に関するものは基本的に購入対象外であり、辞書や言語学の専門書を中心に購入していることが購入比率の低さに表れていると考えられる。

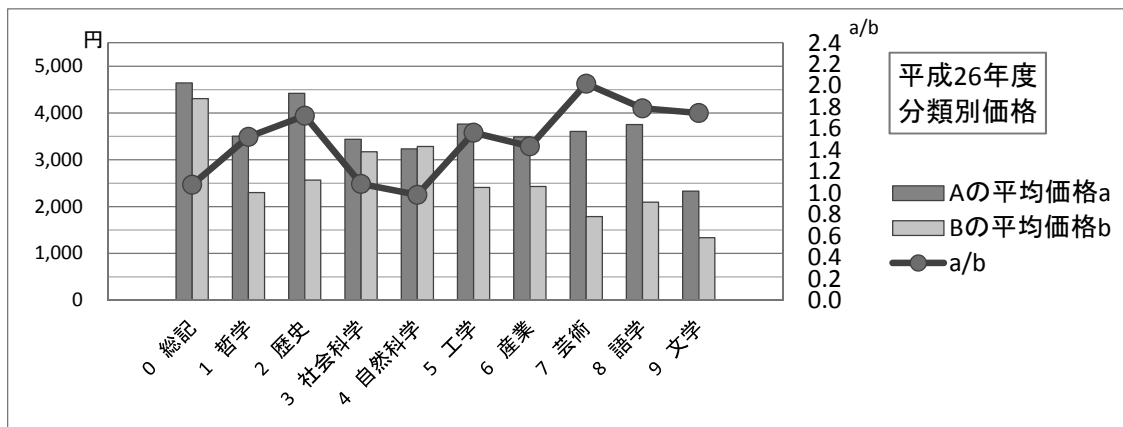
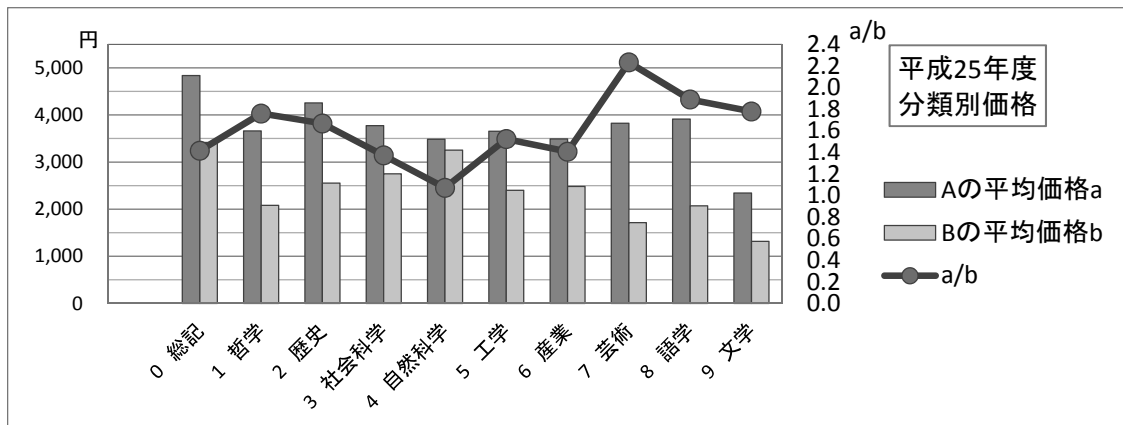
② 購入平均価格と出版平均価格の比較（分類別）（平成24年度～26年度）

（児童書・学習参考書を除く）出版平均価格bに対する購入平均価格aの指数(a/b)を分類別に比較し、出版全体の平均価格と比較して購入単価が高い（a/bが大きい）分野と、購入単価が低い（a/bが小さい）分野を検証した。

【グラフ7】中央図書館で購入した日本語一般図書の平均価格と出版平均価格（分類別）

*A：購入一般図書 B：出版全体（ただし児童書・学習参考書を除く） / いずれも本体価格





(【グラフ7】)の数値データは【巻末表①】参照)

<購入単価が高い分野>

- ・出版全体の平均と比べて購入単価が最も高いのは3年間を通じて7類「芸術」である。
- ・7類は先にも述べたように基本的にコミックを購入しない一方、府城市町村立図書館のバックアップを念頭に置き、市町村立図書館からのリクエストにも配慮しつつ高額な図録や写真集、研究書、復刻資料等を購入している結果だと考えられる。
- ・8類「言語」も総じて高く、これは購入比率の項で述べたとおり辞書や言語学の専門書を中心に購入している結果が表れていると考えられる。

<購入単価が低い分野>

- ・出版全体の平均と比較して購入単価が最も低かったのは3年間を通じて4類「自然科学」であり、購入単価が出版全体の平均価格を下回った。
- ・4類の購入単価が全体の平均価格を下回った要因としては、自然科学分野は高額な参考図書類が多く刊行されるが、これらは、予算上、改訂版刊行のつど購入することが困難なため一定の間隔をあけて購入するケースが少なくないことや、高額な資料が多い研究者向けの医学専門書は基本的に収集対象外としていることが考えられる。

- ・3類「社会科学」も総じて低い。3類は出版物の平均価格が比較的高いことに加え、中央図書館で購入を見送る廉価帯のものがあまり多くないことも、購入単価との乖離が少ない要因ではないかと考える。
- ・また平成26年度は0類「総記」が低いが、これは平成26年度の0類平均価格が、それ以前に比べて上昇（平成24年度比110%、平成25年度比126%）した反面、26年度は24年度と比較すると単価2万円以上の高額資料の購入点数が半減（24年度82冊、26年度41冊）したことにより購入単価が抑えられた影響もあると考えられる。

2.2 寄贈図書の分析（平成24年度～26年度）

近年受け入れた資料について検証するため、平成24年度～26年度に中央図書館に寄贈があり受け入れた日本語一般図書（児童書を除く日本語図書）について分析を行った。

（1）寄贈図書の割合と流通形態

①受入図書のうち、寄贈図書の占める割合

【表6】日本語一般図書の中に占める寄贈の割合

	24年度		25年度		26年度	
	冊数	割合	冊数	割合	冊数	割合
購入	19,178	69.8%	19,783	70.3%	18,513	74.5%
寄贈	8,309	30.2%	8,370	29.7%	6,336	25.5%
計	27,487	100.0%	28,153	100.0%	24,849	100.0%

*寄贈冊数には、紛失等による弁償を含まない。

- ・1.2において、中央図書館の蔵書規模の大きさは、購入のみならず寄贈等の受入の多さにもよると述べたが、【表6】のとおり、寄贈図書は3年間を通じて受入図書全体の約30%から25%程度を占めている。このことは、収集方針に基づいて、必要な資料を幅広く収集するため、購入のみならず寄贈図書の受入にも努めてきた結果を反映したものと考える。

(注)1.2【グラフ3】では平成25年度の中央図書館受入図書に占める購入割合が55.8%であり、のこる寄贈等の割合は44.2%となるが、【グラフ3】には児童書および寄贈合本雑誌等も含むため、上記【表6】の寄贈図書割合とは一致していない。

②寄贈図書のうち、非流通品の占める割合

本項では寄贈図書のうち価格表示がない非売品資料を非流通品、価格表示のあるものを販売品と定義し、双方の割合を比較した。

【表 7】非流通品、販売品の割合

	24 年度		25 年度		26 年度		24 年度に対する 26 年度の受入冊数割合 (b)/(a)
	冊数 (a)	割合	冊数	割合	冊数 (b)	割合	
非流通品	5,782	69.6%	5,283	63.1%	3,937	62.1%	68.1%
販売品	2,527	30.4%	3,087	36.9%	2,399	37.9%	95.0%
計	8,309	100.0%	8,370	100.0%	6,336	100.0%	76.3%

- ・3年間を通じて、非流通品は寄贈図書全体の約6割強～7割を占めている。
- ・ただし、年度を追って非流通品の受入冊数が減少しており、26年度は24年度の68.1%である。これは寄贈図書全体の受入冊数の減少率76.3%を上回っている。この要因のひとつには、近年、統計や調査報告書類の電子公開が進んだことにより、冊子体の刊行が中止される傾向があるように思われる。

(2) 寄贈者の分析

寄贈資料の中には毎年刊行され寄贈される統計や研究紀要等もあるが、大学や行政、研究機関等の調査研究成果などは、刊行状況が把握しにくい上、そもそも寄贈していただくかどうか不明であるなど、受け入れるかどうかの選書以前に、入手の可否の段階で不確定な要因が多い。ここでは調査対象期間中に受け入れた資料の寄贈者を類別し、特に大阪府域における資料保存機能の指標となる府域市町村立図書館旧蔵書の受入などに注目して分析を試みた。

【表 8】対象期間に寄贈があった寄贈者内訳

大分類	寄贈者数	割合
大学・図書館・教育研究機関等	1,460	36.3%
官公庁等	1,046	26.0%
その他	1,517	37.7%
計	4,023	100.0%

*大学・図書館・教育研究機関等には、国公立私立を問わず大学・図書館（文書館・文学館等を含む）・美術館・博物館・学会等研究機関を含む。図書館協議会もここに含めた。

*官公庁等には外国政府や自治体、独立行政法人など関連団体も含むが、国公立の大学・図書館・教育機関等は除いた。

*その他には、上記2分類以外の企業、出版者、団体の他、著者等個人を含む。

【表 9】 寄贈者別の寄贈冊数

大分類	24 年度		25 年度		26 年度	
	冊数	割合	冊数	割合	冊数	割合
大学・図書館・教育研究機関等	3,166	38.1%	4,168	49.8%	2,288	36.1%
うち府域市町村立図書館旧蔵書	722	8.7%	1,317	15.7%	482	7.6%
官公庁等	1,874	22.6%	1,651	19.7%	1,328	21.0%
その他	3,269	39.4%	2,551	30.5%	2,720	42.9%
計	8,309	100.0%	8,370	100.0%	6,336	100.0%

- ・市町村立図書館の資料除籍のタイミングは一樣ではなく、また事前調査のうへ中央図書館で所蔵していない資料のみを寄贈していただいている等の理由により、年度によって寄贈受入冊数にはばらつきがあるが、大阪府域の資料保存センターとしての役割を果たすべく努力している。
- ・ただし、書庫狭隘化に対して長期的な対策が必要になり、従来に比べると受入を厳選せざるを得なくなったため、特に平成 26 年度の寄贈受入冊数は減少している。

【表 10】 大分類：「官公庁等」の内訳

	24 年度		25 年度		26 年度	
	冊数	割合	冊数	割合	冊数	割合
大阪府および関連団体	466	24.9%	452	27.4%	285	21.4%
大阪府内自治体および関連団体	165	8.8%	166	10.1%	182	13.7%
国および関連機関	536	28.6%	433	26.2%	518	39.0%
その他自治体および関連団体	690	36.8%	593	35.9%	338	25.5%
外国政府および関連機関	7	0.4%	7	0.4%	5	0.4%
国際機関	10	0.5%	0	0.0%	0	0.0%
計	1,874	100.0%	1,651	100.0%	1,328	100.0%

- ・大阪府においても、冊子体の刊行物そのものが減少傾向にあるなかで、今後も可能な限り冊子体の収集に努めるとともに、ポーンデジタルの行政資料については引き続き「大阪府立図書館おおさか e コレクション」の中の「大阪の行政資料」のサイトで提供する予定である。

【表 11】大分類：「その他」の内訳

	24 年度		25 年度		26 年度	
	冊数	割合	冊数	割合	冊数	割合
編著者等	276	8.4%	207	8.1%	188	6.9%
編著者以外の個人	911	27.9%	621	24.4%	877	32.2%
法人・団体等	2,082	63.7%	1,723	67.5%	1,655	60.9%
計	3,269	100.0%	2,551	100.0%	2,720	100.0%

- ・その他の大半は、法人等各種団体からの年報等の寄贈であるが、著者からの著作の寄贈や、著者以外の個人からの蔵書の寄贈も相当数あることがわかる。
新刊はもちろん、欠号となっていた資料が補完されることもあり、著者をはじめ多くの寄贈者に支えられ蔵書を形成してきた一面を窺うことができる。

2.3 府内市立図書館における購入図書との比較（平成 26 年度）

府県立図書館である府立図書館は、府城市町村立図書館とは異なる役割を有し、そのことは収集する資料にも違いをもたらすと考える。その点について検証するため、府内の 5 つの市立図書館のご協力をいただき、平成 26 年度に購入した図書（児童書を含む）の比較分析を行った。

調査方法は、次のとおりである。

- ①府内 5 市から提供いただいた、「平成 26 年度購入図書」の ISBN データ（以下、「提供データ」）と、府立図書館の 26 年度購入図書の ISBN データを比較し、府立図書館と 5 市との間で購入図書にどの程度重複が見られるのか、重複している図書または重複しなかった図書の特徴は何かを分析した。

現在書店を通じて流通している図書にはほとんどのものに ISBN データが付与されているため（*）、おおよその傾向がつかめるものとする。

* 一例として、株式会社図書館流通センター（TRC）が作成する TRC 新刊全件マークにおいては、2016 年 3 月 20 日までに作成され、かつ出版年が 2014 年であるマーク 93,839 件のうち、87,285 件（全体の 93.0%）に ISBN データが付与されている（府立図書館取込データをもとに確認）。

- ②提供データに対し、以下の条件で整理を行い、分析対象データを作成した。

- ・同一館の提供データ中に ISBN の重複がある場合は複本とみなして削除し、ISBN が館ごと一意となるように加工した。
- ・ISBN は 2006 年までは 10 桁、2007 年以降は 13 桁の規格となっているが、館により、また当該図書を受け入れる際に使用するマークデータの違い等によって 10 桁と 13 桁のデータが混在するケースがあることから、データの突き合わせにあたっては、10 桁

データと 13 桁データの共通部分となる「国記号から 9 桁」で一致するものを同一図書とみなした。

- ISBN から書誌を確認し、出版年月が 2014 年 4 月～12 月であるものを分析対象データとした。書誌データにおいて出版月が判明しないもの（図書現物に発行月に関する表示がないもの）については、オンライン書店等の情報を参照して発売月で代用した。出版年月に対してこうした絞り込みを行った理由は、
 - 蔵書の補完のために発行年が古い資料を購入するケースは、当該館に特有の事情によるイレギュラーな収集であり、他館における購入対象には通常含まれない。
 - 年度末に刊行される図書は、各館への納品時期や予算の状況により翌年度に購入される（すなわち館として購入するが当該年度の購入図書には含まれない）等の「揺れ」が生じる。
 といった影響を除き、できるだけ各館共通の選定対象となり得る集合を分析対象とするためである。
- 提供データの中には外国語資料も含まれていたが、公共図書館における外国語資料の購入は少数であり、他館との比較調査による有意な結果は得られないであろうと考え、分析対象から除外することとし、近似的に「日本国内で発行された図書」（ISBN の国記号（13 桁 ISBN における 4 桁目）が「4：日本」であるもの）に限定した。

②の方法により整理して作成した分析対象データの概要は、次のとおりである。

	提供データ件数 (重複除去後)		分析対象データ (ISBN 突合、 出版年月 2014. 4~12、国記号 4)
大阪府立	24,083	⇒	36,837 件
A 市	54,865		
B 市	20,144		
C 市	8,621		
D 市	16,483		
E 市	6,508		

* 5 市はいずれも各市立図書館全館。ただし、D 市は新館（平成 27 年 8 月開館）開館準備として購入した図書を除く。大阪府立は、中央図書館と中之島を合わせた件数

この分析対象データをもとに、いくつかの観点で分析を行った。

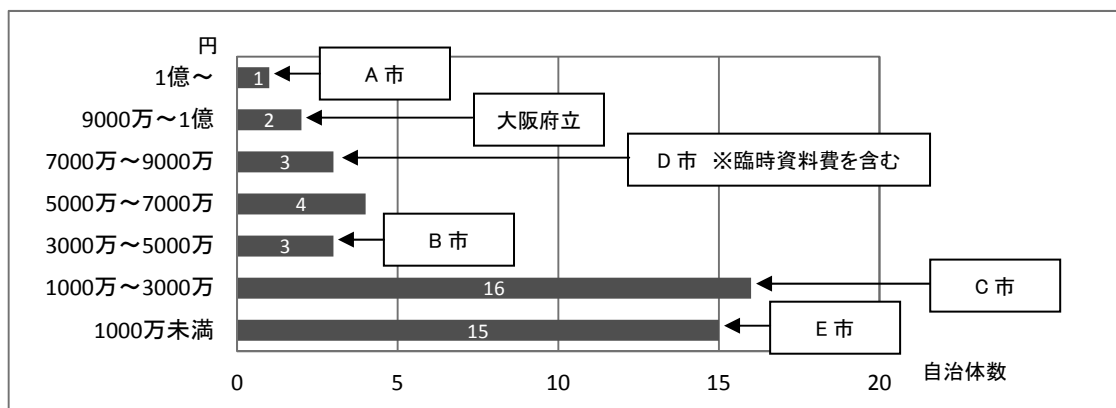
なお、5 市の平成 26 年度の図書受入冊数および図書購入費は、以下のとおりである。

【表 12】平成 26 年度受入冊数および図書購入費決算額

自治体	平成 26 年度受入冊数 (冊)			平成 26 年度決算額 (千円)	
	図書	図書のうち 購入冊数	購入割合	図書館費の うち資料費	資料費のうち 図書費
大阪府	55,606	32,063	57.7%	119,824	94,492
A 市	187,566	142,613	76.0%	251,686	193,738
B 市	30,806	29,026	94.2%	42,396	37,663
C 市	10,190	9,606	94.3%	16,733	15,323
D 市	35,011	31,158	89.0%	110,902	88,546
E 市	8,352	6,994	83.7%	9,507	8,323

* 大阪公共図書館協会 (OLA) 「予算・奉仕概況」による。D 市の平成 26 年度決算額には、臨時資料費 53,991 千円を含む。

【グラフ 8】大阪府内平成 26 年度図書購入費 (決算額) 別自治体数



* 大阪公共図書館協会 (OLA) 「予算・奉仕概況」による。

(1) 府立図書館と市立図書館の購入図書の比較

①価格帯による購入図書の比較

各館の購入図書を価格帯別に集計したのが、【表 13】、【グラフ 9】である。

A 市を除く市立図書館では、3,000 円未満の図書が 95%～99%を占める。A 市で 88.4%、府立図書館は 74%である。

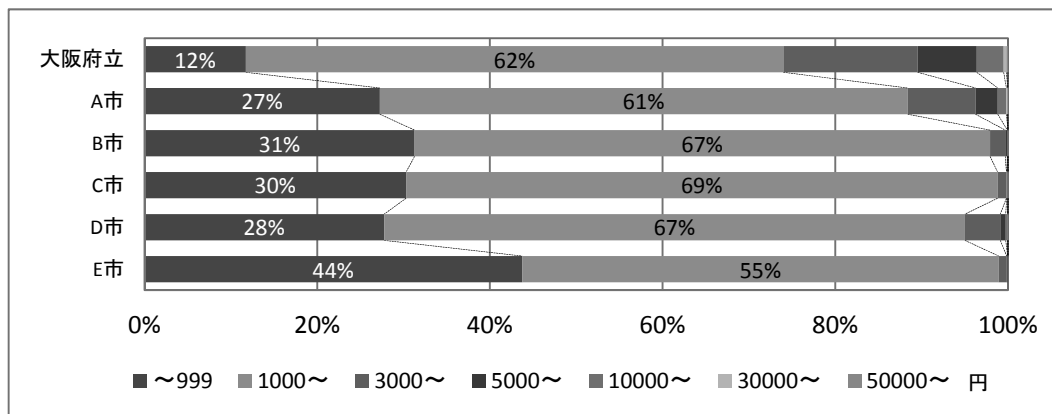
一方、1 万円以上の高額図書は、調査対象の自治体全体で 738 冊購入しているが、そのうち府立図書館で購入したものが 605 冊と全体の 82%を占めている。

予算規模の大きい A 市を除く 4 館では購入図書のほとんどすべてが 3,000 円未満のものに集中している一方、そうした府域市町村立図書館をバックアップする府立図書館が高額図書の購入を担っていることが確認できる。

【表 13】 価格帯別購入タイトル数

	1,000円未満	1,000～2,999円	3,000～4,999円	5,000～9,999円	1万～3万円未満	3万～5万円未満	5万円以上	総計
府立	1,962 11.7%	10,406 62.3%	2,599 15.6%	1,141 6.8%	522 3.1%	51 0.3%	32 0.2%	16,713 100.0%
A市	8,937 27.3%	20,051 61.1%	2,568 7.8%	848 2.6%	329 1.0%	48 0.1%	11 0.0%	32,792 100.0%
B市	3,891 31.3%	8,289 66.6%	219 1.8%	30 0.2%	8 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	12,437 100.0%
C市	1,854 30.3%	4,193 68.5%	62 1.0%	2 0.0%	9 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	6,120 100.0%
D市	2,728 27.8%	6,613 67.3%	402 4.1%	62 0.6%	23 0.2%	2 0.0%	0 0.0%	9,830 100.0%
E市	1,707 43.7%	2,154 55.2%	36 0.9%	5 0.1%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3,903 100.0%
全体（重複を除く）	9,577 26.0%	21,971 59.6%	3,246 8.8%	1,305 3.5%	635 1.7%	70 0.2%	33 0.1%	36,837 100.0%

【グラフ 9】 購入図書の価格帯別タイトル数の割合



※データは【表 13】による

②分類による購入図書の比較

各館の購入図書を分類別に集計したのが、【表 14】、【グラフ 10】である。

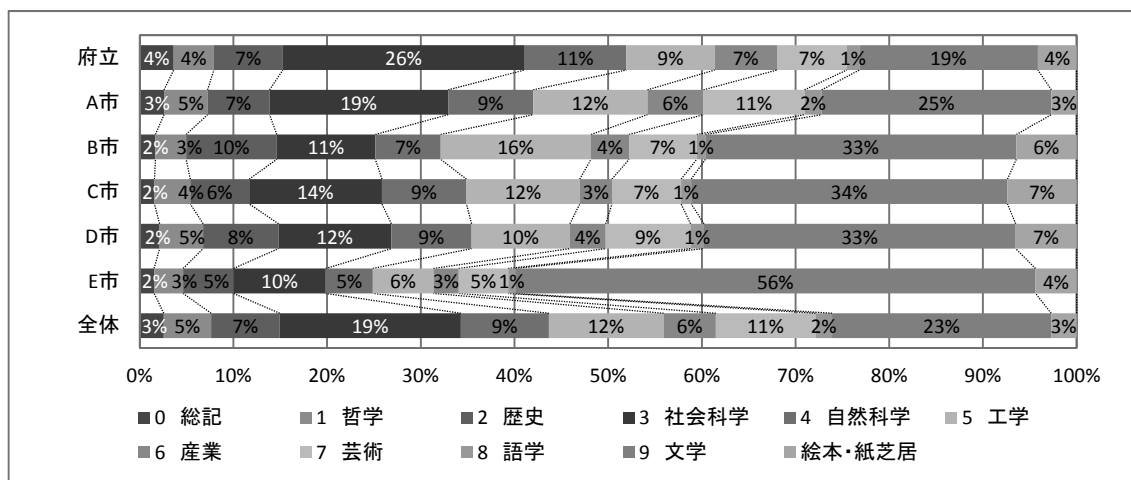
A市を除く市立図書館では、全体の3分の1から半数を9類「文学」が占める。9類は、A市で4分の1、府立図書館は5分の1である。

予算規模の小さな市では9類「文学」の割合が大きくなる傾向があるのに対し、府立図書館では3類「社会科学」が最も多くなるなど9類以外も幅広く購入しており、この点からも市町村立図書館の蔵書を補完していると言えるであろう。

【表 14】 分類別購入タイトル数

	府立	A市	B市	C市	D市	E市	全体
0 総記	605 3.6%	850 2.6%	208 1.7%	96 1.6%	209 2.1%	60 1.5%	948 2.6%
1 哲学	717 4.3%	1,527 4.7%	409 3.3%	235 3.8%	457 4.6%	121 3.1%	1,861 5.1%
2 歴史	1,231 7.4%	2,169 6.6%	1,202 9.7%	384 6.3%	791 8.0%	210 5.4%	2,695 7.3%
3 社会科学	4,315 25.8%	6,250 19.1%	1,309 10.5%	867 14.2%	1,183 12.0%	384 9.8%	7,122 19.3%
4 自然科学	1,812 10.8%	2,978 9.1%	867 7.0%	552 9.0%	842 8.6%	196 5.0%	3,464 9.4%
5 工学	1,578 9.4%	3,997 12.2%	1,995 16.0%	741 12.1%	1,031 10.5%	253 6.5%	4,511 12.2%
6 産業	1,110 6.6%	1,961 6.0%	506 4.1%	210 3.4%	376 3.8%	105 2.7%	2,055 5.6%
7 芸術	1,246 7.5%	3,540 10.8%	899 7.2%	452 7.4%	891 9.1%	206 5.3%	3,915 10.6%
8 語学	226 1.4%	598 1.8%	116 0.9%	65 1.1%	141 1.4%	30 0.8%	654 1.8%
9 文学	3,183 19.0%	8,039 24.5%	4,126 33.2%	2,067 33.8%	3,270 33.3%	2,167 55.5%	8,615 23.4%
絵本・紙芝居	690 4.1%	883 2.7%	800 6.4%	451 7.4%	639 6.5%	171 4.4%	997 2.7%
合計	16,713 100.0%	32,792 100.0%	12,437 100.0%	6,120 100.0%	9,830 100.0%	3,903 100.0%	36,837 100.0%

【グラフ 10】 購入図書のカテゴリ別タイトル数の割合



※データは【表 14】による

(2) 府立図書館と市立図書館で重複購入している図書

分析対象データ 36,837 件について、自治体間の重複の状況を調べたのが【表 15】である。

1 自治体のみの所蔵となっていたタイトルは 13,523 件 (全体の 36.7%)、2 自治体のみの所蔵となっていたタイトルは 12,025 件 (全体の 32.6%) であり、この両方で 25,548 件、全体の約 70%を占める。一方、調査対象の自治体すべてで所蔵していたタイトルは 1,172 件、全体の 3.2%である。

1 自治体のみの所蔵タイトルのうち、府立図書館のみの所蔵となっているタイトルは 2,461 件 (全体の 6.7%)、A 市立図書館のみの所蔵となっているタイトルは 9,904 件、26.9%となっている。

【表 15】所蔵自治体数別タイトル数

所蔵自治体数	タイトル数	割合	内訳 (%は合計に対する割合)
1 自治体	13,523	36.7%	府立のみ 2,461 (6.7%)、A 市のみ 9,904 (26.9%)
2 自治体	12,025	32.6%	府立・A 市 6,732 (18.3%)
3 自治体	5,179	14.1%	
4 自治体	3,037	8.2%	
5 自治体	1,901	5.2%	
6 自治体	1,172	3.2%	
合計	36,837	100.0%	

いくつかのカテゴリについて、価格帯別の分布を確認すると、【表 16】のとおりである。

【表 16】価格帯別購入タイトル数

	1,000 円 未満	1,000～ 2,999 円	3,000～ 4,999 円	5,000～ 9,999 円	1 万～3 万円未満	3 万～5 万円未満	5 万円 以上	総計
全体 (重複を 除く)	9,577 26.0%	21,971 59.6%	3,246 8.8%	1,305 3.5%	635 1.7%	70 0.2%	33 0.1%	36,837 100.0%
府立所蔵								
府立のみ 所蔵	62 2.5%	972 39.5%	641 26.0%	449 18.2%	293 11.9%	22 0.9%	22 0.9%	2,461 100.0%
全館所蔵	238 20.3%	929 79.3%	4 0.3%	0 0.0%	1 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	1,172 100.0%
A 市所蔵 (他 市所蔵を含む)	1,863 13.3%	9,296 66.2%	1,944 13.8%	687 4.9%	221 1.6%	29 0.2%	10 0.1%	14,050 100.0%
A 市未所蔵	37 18.3%	138 68.3%	14 6.9%	5 2.5%	8 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	202 100.0%
府立未所蔵								
A 市のみ所 蔵	3,376 34.1%	5,712 57.7%	543 5.5%	145 1.5%	108 1.1%	19 0.2%	1 0.0%	9,904 100.0%
A 市未所蔵	541 39.1%	810 58.6%	23 1.7%	3 0.2%	5 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	1,382 100.0%

府立図書館のみが購入したタイトル2,461件のうち337件(13.7%)は1万円以上の高額図書であり、逆に3,000円未満のタイトルは1,034件(42%)となっている。

一方、A市のみの購入となっている9,904件は、3,000円未満のタイトルが9,088件(91.8%)を占める。具体的なタイトルを確認すると、シリーズ名に「文庫」とあるもの1,997件(20.2%)、シリーズ名に「ムック」とあるもの286件(2.9%)、楽譜類が多く含まれる分類76(音楽)377件(3.8%)といった、府立図書館が積極的に収集していない資料群が多く含まれており、両者それぞれの役割に応じた収集を行っていることが分かる。

重複して購入している資料を見ると、府立図書館を含む調査対象すべての自治体で重複して購入した1,172件の内訳は、【表17】のとおりであり、約64%は9類・文学、約10%は絵本となっている。

【表17】すべての自治体で購入した1,172タイトルの分類別・価格帯別内訳

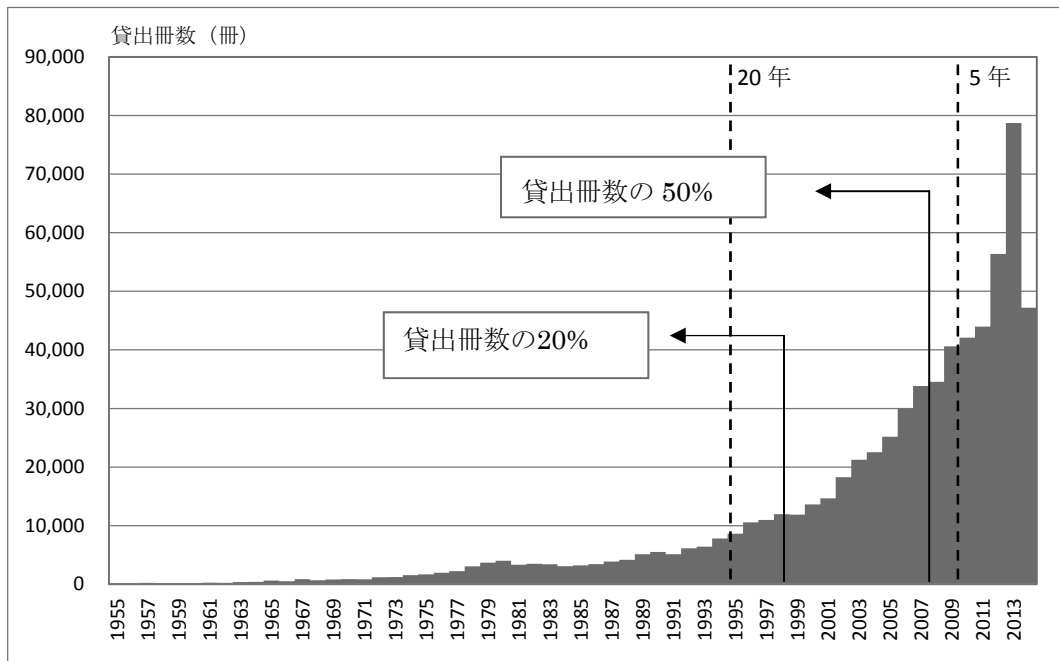
分類	0類	1類	2類	3類	4類	5類	6類	7類	8類	9類	絵本	総計
1,000円未満	4	4	9	25	12	8	3	10	3	150	10	238
1,000～2,999円	16	6	40	64	36	31	10	21	3	597	105	929
3,000～3,999円	1					2				1		4
21,000～21,999円	1											1
総計	22	10	49	89	48	41	13	31	6	748	115	1172
割合	1.9%	0.9%	4.2%	7.6%	4.1%	3.5%	1.1%	2.6%	0.5%	63.8%	9.8%	100.0

3. 利用状況の分析

3.1 出版年からみた貸出図書の分析

府立図書館に受け入れた資料は原則として永年保存である。刊行年の古い資料の利用は、府立図書館の利用のひとつの特徴であると思われるが、その実態を確認するために、平成26(2014)年1月～12月の間に貸出された図書（個人および団体に館外貸出された図書）の出版年の分布を調査した。

【グラフ11】 貸出図書の出版年分布（平成26年1月～12月・中央図書館貸出分）



※図書館情報システムから抽出したデータにより作成（データは次ページ【表18】による）。

- ・ 貸出冊数の約40%は、直近5年以内に刊行された新しい図書が占めるが、一方で貸出冊数の15～20%は、刊行後20年以上経過した図書であり、刊行年の古い資料も相当数実際に利用されている。
- ・ 刊行年の古い資料の貸出例として、1955年～1959年までに刊行された図書で、平成26年1月～12月までに中央図書館での貸出回数が多かったものを挙げる。

11回 『宗教とは何か 誰でも修養』伊福部隆彦著、学風書院、1957.3 NDC160.4

6回 『近代財政の理論 その批判的解明』武田隆夫著、時潮社、1956.3 NDC341

5回 『古い国からの新しい手紙』ヘレン・K・ニールセン著、暮しの手帖社、1955
NDC293.09

5回 『砂防特論』伊吹正紀著、森北出版、1955 NDC656.5

5回 『核兵器と外交政策 アメリカ・ベストセラー全集』H.A. キッシンジャー[著]、
日本外政学会、1958 NDC319

【表 18】貸出図書の出版年分布（平成 26 年 1 月～12 月・中央図書館貸出分）

出版年	貸出冊数	割合	割合(累積)
1955	164	0.02%	0.02%
1956	212	0.03%	0.06%
1957	238	0.04%	0.09%
1958	210	0.03%	0.12%
1959	211	0.03%	0.15%
1960	203	0.03%	0.18%
1961	275	0.04%	0.23%
1962	243	0.04%	0.26%
1963	372	0.06%	0.32%
1964	421	0.06%	0.38%
1965	622	0.09%	0.47%
1966	533	0.08%	0.55%
1967	871	0.13%	0.68%
1968	684	0.10%	0.79%
1969	817	0.12%	0.91%
1970	885	0.13%	1.04%
1971	835	0.12%	1.16%
1972	1,203	0.18%	1.34%
1973	1,235	0.18%	1.53%
1974	1,562	0.23%	1.76%
1975	1,707	0.25%	2.02%
1976	1,954	0.29%	2.31%
1977	2,248	0.34%	2.64%
1978	3,063	0.46%	3.10%
1979	3,692	0.55%	3.65%
1980	4,023	0.60%	4.25%
1981	3,322	0.50%	4.75%
1982	3,493	0.52%	5.27%
1983	3,405	0.51%	5.78%
1984	3,080	0.46%	6.24%
1985	3,225	0.48%	6.72%
1986	3,435	0.51%	7.24%
1987	3,869	0.58%	7.81%
1988	4,192	0.63%	8.44%
1989	5,128	0.77%	9.21%

出版年	貸出冊数	割合	割合(累積)
1990	5,516	0.82%	10.03%
1991	5,123	0.77%	10.79%
1992	6,148	0.92%	11.71%
1993	6,424	0.96%	12.67%
1994	7,800	1.17%	13.84%
1995	8,628	1.29%	15.13%
1996	10,576	1.58%	16.71%
1997	10,988	1.64%	18.35%
1998	11,950	1.78%	20.13%
1999	11,890	1.78%	21.91%
2000	13,618	2.03%	23.94%
2001	14,674	2.19%	26.13%
2002	18,283	2.73%	28.86%
2003	21,243	3.17%	32.04%
2004	22,534	3.37%	35.40%
2005	25,172	3.76%	39.16%
2006	29,985	4.48%	43.64%
2007	33,828	5.05%	48.69%
2008	34,559	5.16%	53.86%
2009	40,599	6.06%	59.92%
2010	42,083	6.29%	66.21%
2011	43,982	6.57%	72.78%
2012	56,372	8.42%	81.20%
2013	78,696	11.75%	92.95%
2014	47,201	7.05%	100.00%
合計	669,504		

*図書館情報システム抽出データより、「個人貸出可」としている 1955 年以降の刊行図書の貸出冊数について作成(1954 年より古い資料も、団体貸出では貸出されている)。個人貸出と団体貸出の両方を含む。出版年の 1 の位が不明のものは各年代先頭に含めた（「[199-]」は「1990」に）。出版年不明分(96 点)は除いた。

3.2 累積貸出回数による分析（平成23年度～25年度）

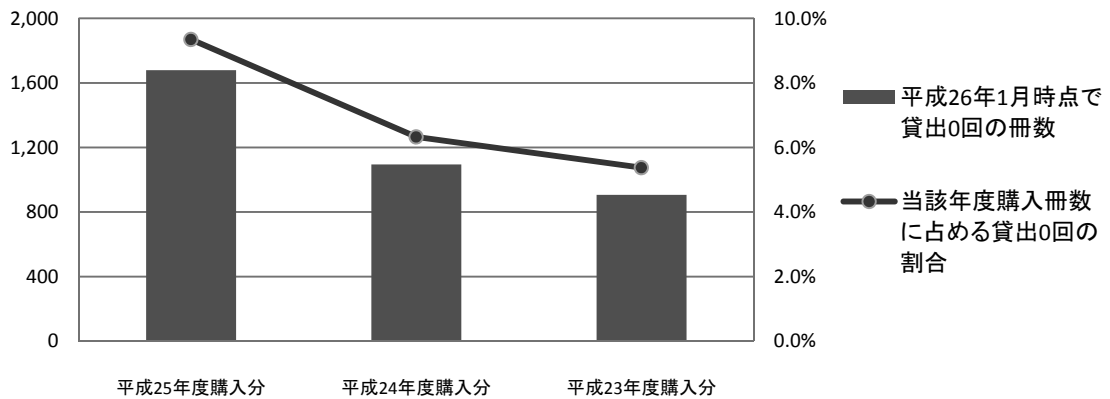
（1）貸出回数0回の分類内訳

平成27年1月時点において、各年度に購入した日本語一般図書で貸出可能な資料（「貸出可」の資料）のうち、データ抽出時点までの累積貸出回数が0回のもの（冊数）と、購入冊数全体に占める割合は次のとおりである。

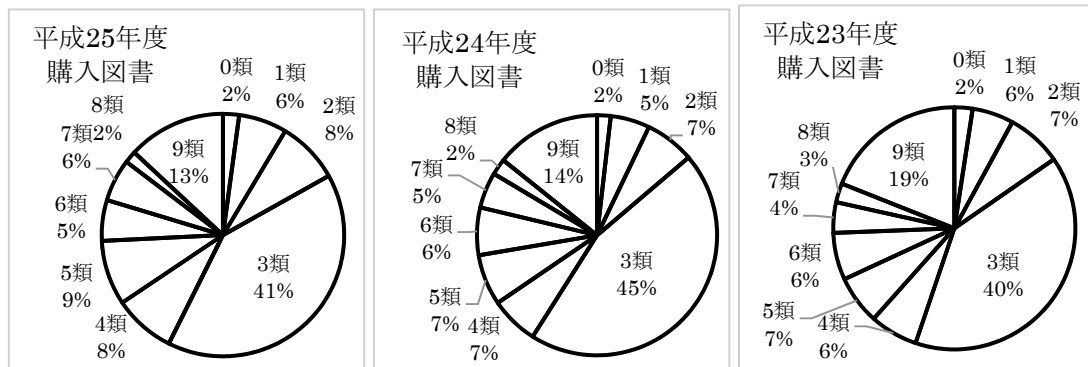
平成25年度購入分（17,968冊中）	1,679冊（9.3%）
平成24年度購入分（17,309冊中）	1,095冊（6.3%）
平成23年度購入分（16,857冊中）	906冊（5.4%）

すぐに利用のないものも、多くは数年のうちに貸出されていることが分かる。

【グラフ12】各年度購入図書の平成27年1月時点での貸出回数0回の冊数



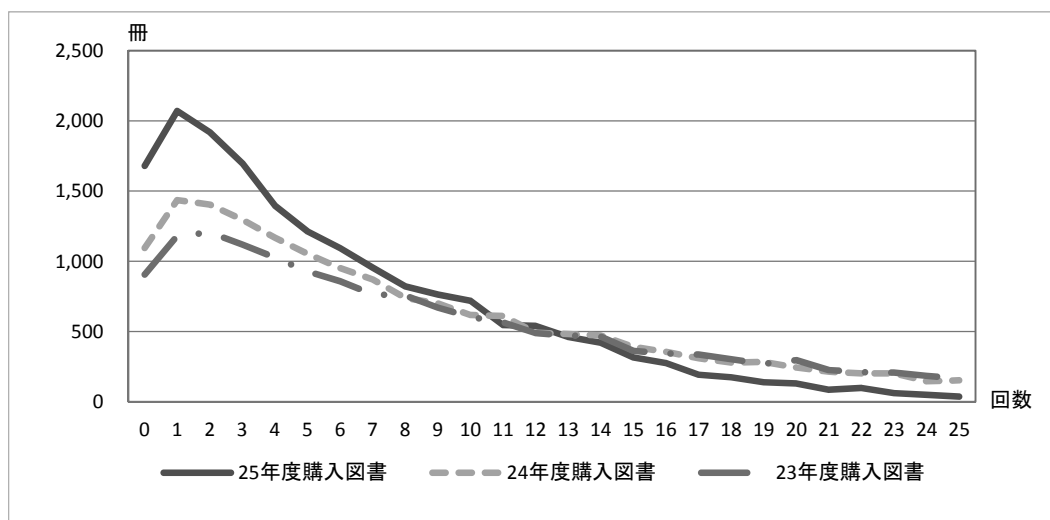
【グラフ13】各年度購入図書の平成27年1月時点での貸出回数0回分類別内訳



- ・各年度購入分とも共通して3類の割合が最も多く、つぎに9類が多い。
- ・上記以外の分類の割合についても、各年度ともほぼ同じ傾向が見受けられる。

(2) 購入年度別 貸出回数別の冊数（帯出区分が「貸出可」の資料）

【グラフ 14】 各年度購入図書の平成 27 年 1 月時点での貸出回数別冊数



- ・平成 25 年度購入分は貸出 0 回が多く、貸出回数最多の 39 回まで急激な右下がりのカーブを描いている。
- ・平成 24 年度購入分、平成 23 年度購入分と年度を経るごとに貸出 0 回の冊数が減少する一方、最多貸出回数が 53 回、77 回と増えていくため、グラフの曲線は徐々に緩やかな右下がりとなっている。

3.3 複写利用状況の分析（平成 27 年度上半期）

蔵書の貸出以外の利用状況を確認するため、館内での複写利用回数を調査した。

- ・調査期間：平成 27 年 4 月 10 日～10 月 2 日（約 6 か月）
- ・1 回以上複写利用された資料の延べ冊数：6,965 冊

調査期間が比較的短かったため全体の 82%は 1 回のみでの複写利用である。【表 19】

複写利用が多かった資料は住宅地図で計 772 冊、全体の約 11%であった。【表 20】

なお住宅地図の複写利用については、調査期間のうち 3 か月間（6, 8, 9 月）中之島図書館が休館していたことの影響があった可能性がある。

【表 19】

複写回数	冊数	割合
13	1	0.01%
12	2	0.03%
11	7	0.10%
10	6	0.09%
9	13	0.19%
8	22	0.32%
7	37	0.53%

複写回数	冊数	割合
6	47	0.67%
5	52	0.75%
4	128	1.84%
3	258	3.70%
2	684	10%
1	5,708	82%
計	6,965	100%

【表 20】

	冊数	延べ複写回数
大阪府精密住宅地図（1972-2008 刊）	542	1,523
ゼンリン住宅地図大阪府（2000-2015 刊）	130	335
ゼンリン住宅地図（大阪府以外）（1976-2015）	100	132
計	801	2,028

大阪府内住宅地図（1972-2015 刊）のうち、1 冊当り複写回数が 4 回以上あったタイトル計 282 冊の出版年代は、【表 21】のとおり 1980 年代が 31%と最も多く、続いて 1990 年代、2000 年以降、1970 年代の順であった。

【表 21】大阪府内住宅地図（1 冊当り複写回数 4 回以上）のタイトル数および割合

	1970 年代	1980 年代	1990 年代	2000 年～	計
タイトル数	51	88	74	69	282
割合	18%	31%	26%	24%	100%

複写 4 回以上の資料は、住宅地図を含む比較的ポピュラーな資料の複写利用が多い。【表 22】

【表 22】

複写回数	書名	出版年	貸出区分 * 空欄は禁帯出
13	大阪府内住宅地図	1978	
12	大阪府内住宅地図（2 タイトル）	1978-2005	
11	大阪府内住宅地図（7 タイトル）	1979-2001	
10	大阪府内住宅地図（6 タイトル）	1975-2008	
9	大阪府内住宅地図（12 タイトル）	1974-2011	
9	帝国データバンク会社年鑑 2015(西)	2014	
8	大阪府内住宅地図（21 タイトル）	1973-2011	
8	角川日本地名大辞典 27 大阪府	1983	
7	大阪府内住宅地図（33 タイトル）	1974-2008	
7	古今和歌集全評釈 上	1998	貸出可
7	制振工学ハンドブック	2008	
7	よみがえる中世 3 武士の都鎌倉	1989	貸出可
7	東商信用録 平成 26 年版上巻	2014.9	
6	大阪府内住宅地図（42 タイトル）	1972-2011	
6	ゼンリン住宅地図(奈良市)	2011	
6	業種別審査事典 3,6	2012	
6	日本歴史地名大系 28-[2]大阪府の地名	1986	
6	帝国データバンク会社年鑑 2015(西)	2014	
5	大阪府内住宅地図（46 タイトル）	1972-2010	
5	路線価図 [1994]大阪府 1	1994	

複写回数	書名	出版年	貸出区分 * 空欄は禁帯出
5	古今和歌集全評釈 下	1998	貸出可
5	道元禅師全集 1	2002	貸出可
5	大阪府神社名鑑	1971	
5	日本図誌大系 [4-1]近畿	1977	
5	新選中学校社会科地図	1959	
4	大阪府内住宅地図 (112 タイトル)	1973-2011	
4	日本列島二万五千分の一地図集成 4	1992	
4	路線価設定地域図 平成 3 年分 13-1 大阪府	1991	
4	日本の私鉄 14 京浜急行	1982	貸出可
4	道元禅師全集 2	2004	貸出可
4	現代教育方法事典	2004	
4	王権と武器と信仰	2008	貸出可
4	税務訴訟資料 第 188 号	1993	府内可
4	建築統計年報 平成 22 年度版	2011	
4	業種別審査事典 8	2012	
4	建築統計年報 平成 23 年度版	2012	
4	新古今和歌集全注釈 2	2011	貸出可
4	交通事故損害額算定基準	2012	
4	八尾市史 近代 本文編	1983	
4	国史大辞典 8	1987	
4	民事交通事故訴訟損害賠償額算定基準 2014 上	2014	
4	帝国データバンク会社年鑑 2015(東)	2014	

つぎに平成 24～26 年度に購入した日本語図書で禁帯出としている資料（貸出可以外のものすべて）のうち、上で分析した「複写利用の多い資料」以外ではどのような資料が複写されているかを確認するため、複写回数が 1 回だった 208 件を分析した。

【表 23】

NDC	0 類	1 類	2 類	3 類	4 類	5 類	6 類	7 類	8 類	9 類	計
冊数	3	1	74	61	21	21	11	6	7	3	208
割合	1.4%	0.5%	35.6%	29.3%	10.1%	10.1%	5.3%	2.9%	3.4%	1.4%	100%

【表 23】のとおり最多は 2 類 36%、次が 3 類 29%となっており、その中で特に多いのは、

- ・ 2 類：住宅地図 49 冊、ブルーマップ 8 冊、道路地図 9 冊
- ・ 3 類：路線価図 5 冊

であったが、そのほかは各分野の各種事典、辞典、統計類、年鑑、白書等、基本的な参考資料が複写利用されていた。（参照：【巻末表②】）

4. 分野ごとの資料評価

1～3において、中央図書館の直近の収集資料および蔵書全体についての数量的な把握を試みたが、蔵書評価ということからすれば、量的な評価とあわせて、収集された資料および蔵書総体としての「質」についての評価が求められるであろう。

しかしながら、総合図書館として、あらゆる分野についての資料を収集対象とする中央図書館では蔵書の質的な状況を「全体」として把握することは極めて困難であると言わざるを得ない。

このことから、「客観的な質的評価」の試みにあたっては、分野を限定し、外部で作成された資料リストによる蔵書分析と、当該分野の外部有識者による第三者評価を実施することとした。

今回評価の対象とした分野は、法情報分野（平成26年度実施）と医療情報分野（平成27年度実施）である。当該分野を選択した理由はつぎのとおりである。

- ・中央図書館利用者（政策立案支援サービス等を含む）から寄せられるレファレンスが
多い分野であること。
- ・今後とも公共図書館が課題解決型サービスとして取り組むべき分野だと考えること。
- ・法情報分野については、中央図書館は、社会科学分野の充実に努めていた旧大阪府立
夕陽丘図書館の蔵書とともに、収集方針も基本的に引き継いだため、相応に充実して
いるだろうとの想定を確認する必要もあること。
- ・医療情報分野については、ニーズの高まりとともに近年力を入れて収集に努めている
分野であるが、この分野の情報の特徴として、一般向けの入門的なものから医療従事
者向けの高度に専門的なものまで、またエビデンスに基づいた客観的な内容であるも
のからそうとは言い切れないものまで、質的な振幅が大きいと言われており、中央図
書館蔵書の「質」を「公共図書館／府県立図書館の蔵書」という観点に照らして確認
する必要があること。

4.1 法情報分野の資料評価

(1) 「法律図書総目録2014」掲載図書の所蔵調査

出版されている法情報関連の図書をどの程度収集できているかを把握するため、法律関係の図書の出版目録である『法律図書総目録』（一般社団法人法経書出版協会）を使用し、同目録掲載タイトル（平成25年10月以降刊行の図書）の所蔵状況を調査した。

【調査方法】

- ・法経書出版協会ウェブサイト
「法律書・経済書・経営書総目録」<https://www.houkeimokuroku.jp/>
に掲載されている図書の所蔵状況を調べる。
- ・調査日 平成26年7月

・調査日における掲載図書タイトル数は、4,312件

- ・法律全般にかかる参考図書、双書・講座等について、高い所蔵割合となっている。
- ・個別分野については、おおよそ半分程度（40～60%程度）の所蔵となっている。収集対象としていない「学生向け教科書」「資格試験用図書」を購入していないほか、類書が存在する場合選択が厳しくなること、頻繁に重版が発行されるものは利用頻度に応じ買い控えること等によるものと考えられ、概ね収集方針に沿った適切な選書ができていると考えられる。

【表 24】「法律図書総目録 2014」掲載図書の所蔵状況（平成 26 年 7 月現在）その 1

※「大分類」「小分類」は同目録の基準による。「所蔵タイトル数」「所蔵割合」は、リスト掲載タイトルのうち、ISBN の記載があるものについての所蔵状況を調査したものである。

※各小分類を利用対象区分（例：「学生向け」「研究書」等）で集計した詳細は【巻末表③】を参照

大分類	小分類	リスト掲載タイトル数	ISBN 記載タイトル数	所蔵タイトル数※			所蔵割合 (%) ※		
				府立合計	中央	中之島	府立合計	中央	中之島
法律一般	法律全般に亘る辞典（事典）	37	37	26	18	8	70.3	48.6	21.6
	論集・随筆	48	48	34	34	0	70.8	70.8	0.0
	法学教育	35	35	8	7	1	22.9	20.0	2.9
	双書・講座	21	21	18	18	0	85.7	85.7	0.0
	法令・判例集	74	48	7	7	0	14.6	14.6	0.0
	司法事情	26	25	15	15	0	60.0	60.0	0.0
	司法制度・行政	31	31	19	17	2	61.3	54.8	6.5
資格試験	司法試験	65	65	7	7	0	10.8	10.8	0.0
	司法書士	11	11	1	0	1	9.1	0.0	9.1
	行政書士	3	3	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	その他-資格試験	43	43	4	0	4	9.3	0.0	9.3
法学	法学一般	118	118	50	49	1	42.4	41.5	0.8
	法学方法論	4	4	3	3	0	75.0	75.0	0.0
基礎法	法哲学	40	40	23	23	0	57.5	57.5	0.0
	法思想史	16	16	8	8	0	50.0	50.0	0.0
	法社会学	18	18	6	6	0	33.3	33.3	0.0
	比較法学	8	5	2	2	0	40.0	40.0	0.0
法制史	日本法制史	41	41	12	12	0	29.3	29.3	0.0
	東洋・西洋法制史	18	18	3	3	0	16.7	16.7	0.0
	外国の法律一般	26	26	15	15	0	57.7	57.7	0.0
憲法	憲法学	126	126	65	65	0	51.6	51.6	0.0
	日本の憲法	134	134	62	61	1	46.3	45.5	0.7
	外国の憲法	36	36	19	19	0	52.8	52.8	0.0
	国会法・選挙法	4	4	3	3	0	75.0	75.0	0.0
行政法	行政法一般	122	121	66	64	2	54.5	52.9	1.7
	租税法	50	48	22	21	1	45.8	43.8	2.1
	地方自治法	38	38	14	14	0	36.8	36.8	0.0

大分類	小分類	リスト掲載タイトル数	ISBN 記載タイトル数	所蔵タイトル数※			所蔵割合 (%) ※		
				府立合計	中央	中之島	府立合計	中央	中之島
	警察法	4	4	3	3	0	75.0	75.0	0.0
	文化・教育法	10	9	4	4	0	44.4	44.4	0.0
	外国の行政法	5	5	2	2	0	40.0	40.0	0.0
民法	民法理論・民法学	116	108	38	38	0	35.2	35.2	0.0
	財産法	22	22	4	4	0	18.2	18.2	0.0
	民法総則	50	50	13	13	0	26.0	26.0	0.0
	物権法	62	60	21	18	3	35.0	30.0	5.0
	債権法（債権総論・各論）	136	135	62	57	5	45.9	42.2	3.7
	家族法	77	72	33	33	0	45.8	45.8	0.0
	親族法	17	16	4	4	0	25.0	25.0	0.0
	相続法	26	24	11	11	0	45.8	45.8	0.0
	民事特別法	62	47	19	17	2	40.4	36.2	4.3
	外国の民法	23	23	12	11	1	52.2	47.8	4.3
	民事訴訟法	民事訴訟法	108	107	58	52	6	54.2	48.6
強制執行法		27	27	17	15	2	63.0	55.6	7.4
家事裁判法・人事訴訟手続法		4	4	1	1	0	25.0	25.0	0.0
倒産法		23	23	15	8	7	65.2	34.8	30.4
商法	商法理論・商法学	8	8	7	5	2	87.5	62.5	25.0
	商法総則	17	17	5	4	1	29.4	23.5	5.9
	会社法	180	180	106	46	60	58.9	25.6	33.3
	企業法	31	31	20	9	11	64.5	29.0	35.5
	商行為法	12	12	6	6	0	50.0	50.0	0.0
	保険法	20	20	13	12	1	65.0	60.0	5.0
	海商法・海法	3	3	1	1	0	33.3	33.3	0.0
	金融法	59	59	35	23	12	59.3	39.0	20.3
	外国の商法	15	15	13	5	8	86.7	33.3	53.3
刑法	刑法理論・刑法学	71	71	41	41	0	57.7	57.7	0.0
	刑法総論	65	65	37	37	0	56.9	56.9	0.0
	刑法各論	35	35	12	12	0	34.3	34.3	0.0
	刑事政策・犯罪学・行刑・矯正	71	71	48	47	1	67.6	66.2	1.4
	法医学	4	4	2	2	0	50.0	50.0	0.0
	刑事特別法	4	4	3	3	0	75.0	75.0	0.0
	外国の刑法	10	10	8	8	0	80.0	80.0	0.0
刑事訴訟法	刑事訴訟法	115	114	62	61	1	54.4	53.5	0.9
	少年法	16	16	11	11	0	68.8	68.8	0.0
	外国の刑事訴訟法	16	16	8	8	0	50.0	50.0	0.0
労働法	労働法一般	133	131	80	59	21	61.1	45.0	16.0
	労働基準法	17	17	12	6	6	70.6	35.3	35.3
	労働組合法	2	2	2	2	0	100.0	100.0	0.0
	労働諸法	19	19	13	9	4	68.4	47.4	21.1
	外国の労働法	10	10	7	5	2	70.0	50.0	20.0
社会保障法	社会保障法	55	47	27	25	2	57.4	53.2	4.3

大分類	小分類	リスト掲載タイトル数	ISBN記載タイトル数	所蔵タイトル数※			所蔵割合(%)※		
				府立合計	中央	中之島	府立合計	中央	中之島
産業・経済法	独占禁止法	35	35	24	17	7	68.6	48.6	20.0
	農林水産業法	1	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	鉱工業法	1	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	公害法・工業関係法	6	2	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	運輸法	10	10	3	3	0	30.0	30.0	0.0
知的財産法	知的財産法	121	121	83	69	14	68.6	57.0	11.6
環境法	環境法	43	41	22	22	0	53.7	53.7	0.0
消費者法	消費者法	17	17	12	9	3	70.6	52.9	17.6
情報・メディア法	情報・メディア法	25	25	17	14	3	68.0	56.0	12.0
国際法	国際法一般	76	75	37	31	6	49.3	41.3	8.0
	国際条約	31	31	16	14	2	51.6	45.2	6.5
	国際機関法	6	6	1	1	0	16.7	16.7	0.0
	国際紛争の処理	16	16	8	7	1	50.0	43.8	6.3
	国際私法	24	24	15	14	1	62.5	58.3	4.2
	国籍法・外国人法	18	18	11	11	0	61.1	61.1	0.0
	国際経済法	20	20	15	11	4	75.0	55.0	20.0
	国際取引法	21	21	13	6	7	61.9	28.6	33.3
法律事務・書式	訴訟	40	39	24	22	2	61.5	56.4	5.1
	不動産	28	19	5	5	0	26.3	26.3	0.0
	商事	34	34	19	15	4	55.9	44.1	11.8
	その他-法律事務・書式	36	31	14	7	7	45.2	22.6	22.6
その他	その他-その他	48	45	26	19	7	57.8	42.2	15.6
政治一般	政治一般	51	51	32	31	1	62.7	60.8	2.0
政治学・政治思想	政治理論・政治学	85	85	47	47	0	55.3	55.3	0.0
	政治思想史	47	47	28	28	0	59.6	59.6	0.0
政治史・各国の政治	政治史	40	40	27	27	0	67.5	67.5	0.0
	各国の政治	108	108	68	68	0	63.0	63.0	0.0
	政治家の伝記	18	12	9	9	0	75.0	75.0	0.0
国家の形態・政治体制	国家の形態	9	9	6	6	0	66.7	66.7	0.0
	選挙・政党	11	11	10	10	0	90.9	90.9	0.0
	民族問題	10	10	7	7	0	70.0	70.0	0.0
行政・地方自治	行政学	29	29	12	12	0	41.4	41.4	0.0
	行政管理	1	1	1	1	0	100.0	100.0	0.0
	行政組織	1	1	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	行政事務・監査	1	1	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	地方制度・条例	24	24	8	8	0	33.3	33.3	0.0
	地方行政・行政事務	37	37	25	25	0	67.6	67.6	0.0
	都市政策・まちづくり	22	21	11	10	1	52.4	47.6	4.8
外交・国際関係	外交・国際関係	191	191	98	98	0	51.3	51.3	0.0
総計		4,295	4,181	2,162	1,913	249	51.7	45.8	6.0

(2) 外部有識者による評価

外部有識者による第三者評価の試みとして、法情報学の専門家に中央図書館 3 階社会・自然系資料室の法律分野の書架を実際にご覧いただき、講評していただいた。

なお事前資料として、中央図書館で受付けた法情報関係レファレンス記録 (2011-2014)、および政策立案支援サービス (P-support) の法律関係レファレンス事例 (2012-2014) を見ていただき、中央図書館への利用者のニーズ、および対応状況をお伝えした。

講評の概要は、次のとおり。

日時	: 平成 26 年 12 月 11 日 (木)
外部有識者	: 法学研究科講師 (専攻科目: リーガル・リサーチ、法律図書館学)
場所	: 社会・自然系資料室
	開架・参考図書 (法律分野)
	・ 合本雑誌 (法令全書、判例集、法律雑誌合本タイトル)
	・ NDC320~329 の書架
	・ 新着雑誌 (法律分野)
	・ オンラインデータベース端末
	準開架 ・ 判例バックナンバー

① 全般的な印象

【図書】

- ・ 参考図書も単行本もよく集められている。
- ・ 勤務先の大学図書館で学生の閲覧用に開架している図書と比べ、蔵書構成としては概ねよく整備できていると思う。
- ・ 個別六法などでは、大学にないものも所蔵している (『船員六法』『鉄道六法』等)。
- ・ 一般向けにビジュアルに解説しているような入門本は、大学ではほとんど所蔵していないが、公共図書館では専門的な資料への橋渡しのためにもあるとよいと思う。
また、遺産相続や境界線トラブル、また自分で訴訟を起こす人向けの入門書の需要があるのは理解できる。入門書は版を重ねているものを選べばよいだろう。
- ・ 刊行年の古いものなど役割を終えた資料もあるかもしれないが、歴史的な意味があり、古い資料も利用できるようにしておくことは意味がある。

【雑誌】

- ・ 基本的なものはしっかりと収集できている。
- ・ 市町村では所蔵が難しいので府立図書館で所蔵していることが望ましい、というようなタイトルについても収集できている。
- ・ バックナンバーについても、必要なタイトルがしっかりと所蔵されている。判例集などデータベース化された資料でも、一部の図表等が未収録だったり、電子化されたデータが

誤っているケースもある（データが紙媒体と異なる場合は紙媒体が正しいと注記しているものもある）ため、紙媒体の保存には意味がある。

【オンラインデータベース】

- ・法律分野のデータベースは、大学も府立図書館と同じタイトルを導入している。一般のリーガル・リサーチにはこれだけあれば十分と思われる。
- ・大学は複数アカウントで契約しているので 1ID での提供は少ないようにも思われるが、大学でも法学部学生・院生の人数に比して夏休み等では 1 日の利用が少ない日もある。導入費用は高額であり、利用のバッティングがあまり生じていないのであれば問題ないだろう。

② 収書、その他資料についてのアドバイス

- ・法学研究者等の記念論文集（退官記念、古希記念等）は、執筆者の意識も高く資料的価値は高いと言われているが、一般に高額なため、予算の状況によっては公共図書館での収集を見送り、近隣の大学図書館を案内することも考えられる。
- ・法律関連図書（特に逐条解説やコンメンタール）は、法律の改廃、新判例の出現により改訂が発生し、その都度更新していく必要がある。
- ・版を重ねている図書は一定の評価を受けている資料である可能性が高い。しかしその一方で教科書として利用されているのか、毎年のように改訂されているものもあるので注意が必要である。
- ・個別六法は、通達も一緒に掲載されていることがある。特にその分野の調査を行う人には便利。また、過去の六法全書も、その当時の法令の条文が見やすいので有用である。

4.2 医療情報分野の資料評価

（1）外部で作成された資料リストによる蔵書分析

- ①「日本医書出版協会書誌データ」（一般社団法人日本医書出版協会）掲載図書の所蔵調査
出版されている医療情報関連の図書をどの程度収集できているかを把握するため、医学関係の図書の出版目録である『医学書総目録』（一般社団法人日本医書出版協会）の書誌データを使用し、同目録掲載タイトルの所蔵状況を調査した。

【調査方法】

- ・『医学書総目録』の書誌データとして日本医書出版協会が提供する「日本医書出版協会書誌データ」（2015年10月現在）に収録されている図書のうち、ISBNデータが付与されている資料を対象として中央図書館所蔵状況を調べる。

対象資料数：17,169件

- ・調査日 平成27年12月4日

対象資料の価格帯別所蔵状況は、【巻末表④】のとおりである。

- ・全体 17,169 件に対する府立図書館の所蔵タイトル数は 2,850 件、全体の所蔵割合は 16.6%である。価格帯別の所蔵割合は、価格が 5,000 円以下の図書では 18.8%、5,000 円から 10,000 円の図書は 13.8%、10,000 円から 50,000 円の高額図書では 10.7%となっている。
- ・分野別では、「基礎医学」分野、「医学一般」分野、「公衆衛生」分野等は 25%から 50%の比較的高い所蔵割合となっている。一方、より専門の度合いが高いと思われる臨床医学の所蔵割合は概ね数%から 10%台と低い水準にとどまっており、医療従事者向けの高度かつ高額な医学書ではなく、一般の利用者向けの資料を選定してきた結果が反映されている。
- ・臨床医学の中でも、社会的な関心が高いと考えられる分野（「癌・主要一般」「感染症・AIDS」「アレルギー」「老年医学」「小児外科学」「移植・人工臓器」等）は、所蔵の割合が高い。また、中央図書館資料選択基準において意識的に収集している「鍼灸療法技術」の所蔵割合も高くなっており、概ね収集方針に沿った適切な選書ができているものと考えられる。

② 他府県立図書館が作成した医療健康分野のパスファインダー掲載図書の所蔵調査

医療情報関係の図書をどの程度収集できているかを把握するため、都県立図書館 4 館（東京都立中央、埼玉県立久喜、鳥取県立、岡山県立）が作成した医療情報分野のパスファインダーを使用し、所蔵調査を行った。

調査日 平成 27 年 10 月

調査対象 1,200 冊（のべ 1,374 冊のうち重複タイトル 174 冊を除く）

調査対象 1,200 冊のうち、中央図書館で所蔵している図書は全体の 52.9%（635 冊）であった。

未所蔵分 47.1%（565 冊）の中には見計らい後、返品された図書が 183 冊（33.7%）あり、その大半は類書が多数発行されている健康法・家庭療法に関する図書（例：『糖尿病を治すおいしい食事』『お灸で冷えとり“温熱効果”で体質がみるみる変わる』等）に該当するため購入を見送ったものと考えられる。また高額図書の中には、主に大学等の機関で所蔵されている専門的な資料であったため、購入されなかったと考えられるものがある。

（例：『図説漢方医薬大事典 全 4 巻』講談社 1982.5 ¥120,000 / 『世界ヘルスケア・医療統計データ』エムディーアイ・ジャパン 2003.3 ¥60,000）

パスファインダー別の所蔵割合を見ると、鳥取県立図書館の「自殺対策」について調べる「看護研究の調べ方」は、9 割以上を所蔵しており、東京都立中央図書館の「健康・医療情報」も約 9 割を所蔵している。なお東京都立中央図書館の医療情報分野のパスファインダー全 12 件中 6 件については 7 割以上を所蔵している。

一方、所蔵の少なかった分野「冷え症」（岡山県立）や「歯と健康」（東京都立中央）に

については、上述の健康法・家庭療法に関する図書や、府城市町村立図書館でも比較的購入されている一般向けの入門書が多く含まれており、中央図書館での受入を見送ったものが少なからずあることが分かった。

全体的に見ると、都道府県立図書館として一定の水準の蔵書構築ができていないのかと考える。

【表 25】他館パスファインダー掲載図書の中央図書館所蔵状況（平成 27 年 10 月現在）

作成館	パスファインダー名	掲載タイトル数(a)	所蔵タイトル数(b)	所蔵割合(b)/(a)
東京都立中央	健康・医療情報 (H26.3)	58	52	89.7%
	動物由来感染症 (H21.9)	21	17	81.0%
	インフルエンザ (H23.1)	32	25	78.1%
	ここから調べる (H27.6)	214	156	72.9%
	麻疹 (H21.9)	17	12	70.6%
	食と健康 (H25.7)	27	19	70.4%
	アンチエイジング (H24.11)	21	13	61.9%
	心の健康 (H27.1)	24	13	54.2%
	うつ病 (H23.7)	39	19	48.7%
	乳がん (H25.10)	19	9	47.4%
	メタボリックシンドローム (H24.7)	15	7	46.7%
歯と健康 (H24.5)	14	2	14.3%	
埼玉県立久喜	健康・医療情報リサーチガイド@埼玉 (H27.3)	79	65	82.3%
鳥取県立	「自殺対策」について調べる (H22.11)	25	24	96.0%
	看護研究の調べ方 (H27.6)	25	23	92.0%
	「薬」について調べる (H26.3)	18	15	83.3%
	一般的な医療・健康情報の調べ方 (H27.6)	47	36	76.6%
	「がん」について調べる (H26.3)	10	6	60.0%
	「インフルエンザ」について調べる (H26.3)	12	7	58.3%
	「慢性腎臓病 (CKD)」について調べる (H26.3)	16	9	56.3%
	「うつ病」について調べる (H26.3)	20	10	50.0%
	「乳がん」について調べる (H26.3)	20	11	55.0%
	「認知症」について調べる (H26.3)	19	10	52.6%
	「大腸がん」について調べる (H26.3)	7	3	42.9%
	「不妊」について調べる (H26.3)	21	9	42.9%
	「子宮がん」について調べる (H26.3)	14	6	42.9%
「糖尿病」について調べる (H22.1)	66	24	36.4%	
岡山県立	「インフルエンザ」に関する資料リスト (H26.12)	44	26	59.1%
	「医療・健康情報の探し方」関連図書リスト (H26.11)	80	41	51.3%
	「認知症」に関する資料リスト (H27.3)	96	48	50.0%
	「癌 (ガン)」に関する資料リスト (H27.2)	165	69	41.8%
	「肝臓の病気」に関する資料リスト (H27.4)	42	9	21.4%
「冷え症」に関する資料リスト (H26.1)	47	2	4.3%	
のべ冊数		1,374		
重複を除く実数		1,200	635	52.9%

* パスファインダー名欄 () 内の日付は作成年月

(2) 外部有識者による評価

外部有識者による第三者評価の試みとして、医療情報の専門家に中央図書館 3 階社会・自然系資料室の医療分野の書架を実際にご覧いただき、講評していただいた。

講評の概要は、次のとおり。

日 時 : 平成 28 年 1 月 27 日

外部有識者 : 公立 (府県立) こども病院医学図書室司書

場 所 : 社会・自然系資料室

開架・参考図書 (医学分野)

・一般図書

369<社会福祉。特に高齢者福祉、障がい者福祉等>

378<障がい児教育>

49<主に 493.9 小児科学>

598<家庭の医学>

・新着雑誌 (医学分野)

① 参考書架

- ・「薬」に関する資料は、できるだけ毎年更新することが望ましい。副作用情報は頻繁に変わることで、次々と新薬が登場することが理由。古い情報は「害」になる場合がある。
- ・「抗がん剤」に関する資料も、毎年更新することが望ましい。以前は入院して投与する治療が主だったが、現在は外来治療が主になっている。
- ・医学情報の「賞味期限」はおおよそ 5 年（「診療ガイドライン」の改訂頻度がおおよそ 5 年）であるが、以下の分野は、発行後 5 年以上経過しているものでも有効であることが多い。

画像診断、解剖学、病態生理、メンタルヘルス、漢方、食品・栄養

- ・「ビジュアルシリーズ」のようなものを 1 セット、参考書架にも置けないか。調査の起点になる。
- ・「発行年が直近 5 年以内のものを探しましょう」「最新の情報はインターネットから取得できます」というような掲示をするなど、利用者に注意喚起することが望ましい。発行年の情報を、利用者は見ているようで見ていない。
- ・「健康・医療情報」調査ガイドに記載している免責事項（図書館では、専門家の判断が必要な、個別の健康相談・医療相談は行っていません。個別の健康相談・医療相談は、お近くのお医者さんにご相談ください。）と同じ内容の注意書きを参考図書の書架にも掲示してはどうか？
- ・書架のそばに、台と、鉛筆・メモをそろえられるとよい。

病名や薬の名前は似た名前が多い。覚えて後でメモと思うと間違える恐れあり、その場でメモできる配慮があるとよい。書架の 1 段分を空にして、そこを閲覧台として大きな参

考図書を広げたりメモしたりするスペースとして使うことも考えられる。

② 一般書架

- ・ 493.9 小児科学の棚は資料がとても揃っている。
- ・ NDC は病名からは引けるが、病態からはたどれない。一方で、一般利用者は病名からは探せない。パスファインダー等に人体の絵を描き、「おなかの症状はこの棚」といった視覚から入る形で示すと分かりやすい。
- ・ 書架は、エビデンスに基づく資料と、そうでない資料（ナラティブな資料）が混然一体となっている印象。どの資料がエビデンスに基づくものか見分けられる工夫があるとよい。エビデンスに基づく資料だけの棚、そうでない資料の棚と分ける、エビデンス資料だけ色シールを背に貼付することも考えられる。
- ・ 他館の事例で、闘病記について、主人公が最終的に亡くなる話とそうでないものをシールで区別した例がある。患者への配慮。
- ・ 498.5 の食品・栄養学の分野、とても揃っている。
- ・ 検査値の読み方の資料は、ニーズが高い。
- ・ 598「家庭の医学」と、49「医学」の書架が離れているが、医療健康情報のパスファインダーにフロア図を掲載してそれぞれの書架の位置を出しておくとうい。
- ・ 利用者のプライバシーを守ることは重要。静かな閲覧室でやりとりすると周囲の利用者に会話が聞こえる場合がある。病気等に関する棚などは、他の利用者の目に触れにくい奥まった場所などが望ましいが、なかなか難しいケースも多い。他館の事例として、貸出カウンターに紙袋を用意しておき、病名等がそのまま書名に入っているようなデリケートな資料を手渡す時には紙袋に入れて他の利用者の目に触れないようにしている。また、勤務先の医学図書室では、複写物を利用者に渡す時も使用済み封筒に入れるなど、他の利用者の目に触れないような配慮を行っている。聞き取ったメモも利用者の目の前でシュレッターしている。静かな BGM をカウンター周りにだけ流す方法もある。会話が他に漏れるのを防ぐ効果がある。
- ・ 閲覧室は、書架の間隔が広く、とても落ち着いた雰囲気である。

③ 雑誌

- ・ とてもよく揃っている。
- ・ 学会誌への問合せに対して現物の提供ができないことが多い、とのことだが、公共図書館で学会誌にまで対応する必要はないと思う。医学図書館を案内すればよい。利用者が看護師の方の場合は、看護協会図書館や医師会の図書館も使える場合がある。

④ データベース

- ・ とても充実している。

おわりに

中央図書館の蔵書評価の取組みとして、いくつかの観点から分析を行ってきた。得られた結果から、資料収集方針に沿った収集および蔵書構築は概ねできているものと考えている。入手できるデータにも限界があり、十分な分析ができたとは考えていないが、これまで実務を通して認識していた中央図書館の蔵書の実態を、改めて数字として確認できたことも多い。

府立図書館は、大阪府の厳しい財政状況を反映した資料購入予算の減少、また収蔵スペースの逼迫等により、今後は受け入れる資料に対し一層厳しい選択が求められると思われる。また、ウェブ情報のみならず、オンラインデータベースや電子書籍といった新たな媒体がますます存在感を大きくする中で、多様化する府民の情報ニーズに公共図書館がいかに対応していくか、今後とも府立図書館としての役割を果たしていくためにはどのような蔵書が求められるのか、引き続き真摯な検討が必要であると考えている。今回の調査結果を今後の検討材料として活用していきたい。

最後に、快く所蔵データを提供くださった府内 5 つの市立図書館、分野ごとの評価において講評をいただいた外部有識者の先生方のご協力に厚くお礼申しあげる。

担 当 （所属は平成 27 年度）

【資料情報課】

仙田ひろ子、 山田瑞穂、 尾崎弘明、 増田景子

【協力振興課】（データ処理協力）

酒井 格、 須賀季夫

【巻末表①】中央図書館の購入日本語一般図書の冊数・価格と出版点数・価格（分類別）

（平成 24 年度） a、b とも本体価格

NDC 分類	購入冊数 (冊) A	出版点数 (点) B	購入冊数 比率 A/B	A の平均 価格 (円) a	B の平均 価格 (円) b	a/b
0 総記	813	1,981	41.0%	5,235	3,905	1.34
1 哲学	956	4,342	22.0%	3,659	2,112	1.73
2 歴史	1,587	4,847	32.7%	4,807	2,686	1.79
3 社会科学	5,569	16,094	34.6%	3,889	3,051	1.27
4 自然科学	1,908	6,935	27.5%	3,564	3,329	1.07
5 工学	2,086	9,104	22.9%	3,357	2,481	1.35
6 産業	932	3,631	25.7%	3,744	2,521	1.49
7 芸術	1,629	12,763	12.8%	3,435	1,703	2.02
8 語学	323	2,053	15.7%	3,603	2,039	1.77
9 文学	3,375	13,893	24.3%	2,487	1,386	1.79
計	19,178	75,643	25.4%	3,623	2,367	1.53

（平成 25 年度） a、b とも本体価格

NDC 分類	購入冊数 (冊) A	出版点数 (点) B	購入冊数 比率 A/B	A の平均 価格 (円) a	B の平均 価格 (円) b	a/b
0 総記	739	2,135	34.6%	4,835	3,417	1.41
1 哲学	1,101	4,289	25.7%	3,660	2,081	1.76
2 歴史	1,904	4,741	40.2%	4,255	2,553	1.67
3 社会科学	5,316	16,457	32.3%	3,773	2,751	1.37
4 自然科学	2,314	7,140	32.4%	3,483	3,253	1.07
5 工学	2,049	9,067	22.6%	3,656	2,401	1.52
6 産業	911	3,505	26.0%	3,490	2,482	1.41
7 芸術	1,795	13,223	13.6%	3,824	1,713	2.23
8 語学	350	1,905	18.4%	3,911	2,071	1.89
9 文学	3,304	13,635	24.2%	2,342	1,317	1.78
計	19,783	76,097	26.0%			

（平成 26 年度） a、b とも本体価格

NDC 分類	購入冊数 (冊) A	出版点数 (点) B	購入冊数 比率 A/B	A の平均 価格 (円) a	B の平均 価格 (円) b	a/b
0 総記	752	1,924	39.1%	4,644	4,309	1.08
1 哲学	960	4,255	22.6%	3,505	2,300	1.52
2 歴史	1,453	4,876	29.8%	4,421	2,569	1.72
3 社会科学	4,998	15,858	31.5%	3,441	3,171	1.09
4 自然科学	2,308	7,007	32.9%	3,233	3,287	0.98
5 工学	1,874	8,736	21.5%	3,764	2,409	1.56
6 産業	967	3,427	28.2%	3,492	2,432	1.44
7 芸術	1,596	13,063	12.2%	3,606	1,786	2.02
8 語学	299	1,751	17.1%	3,754	2,097	1.79
9 文学	3,306	13,484	24.5%	2,331	1,335	1.75
計	18,513	74,381	24.9%			

*24 年度～26 年度とも、購入冊数、購入の平均本体価格は図書館情報システムより作成。出版点数、

出版の平均本体価格は「出版年鑑 2015」より。

【巻末表②】平成24～26年度購入の日本語図書（禁帯出）で、複写回数1回の資料

分類	タイトル	巻次	出版年
007.3	デジタルコンテンツ白書	2013	201309
010.33	図書館用語集		201310
021.2	著作権研究	39(2012年)	201403
182.1	訓読元亨釈書	上巻	201111
203.8	プッツガー歴史地図		201303
210.02	禁裏・公家文庫研究	第4輯	201203
210.6	明治時代史大辞典	3	201302
219.7	奄美諸島編年史料	古琉球期編上	201406
281.033	姓名よみかた辞典	名の部	201408
290.36	人文地理学事典		201309
291.038	伊能図大全	第3巻	201312
291.21	青森県道路地図		201300
291.22	岩手県道路地図		201400
291.24	秋田県道路地図		201300
291.25	山形県道路地図		201400
291.32	栃木県道路地図		201300
291.56	ゼンリン住宅地図三重県津市	2	201308
291.56	ゼンリン住宅地図三重県津市	3	201209
291.56	ゼンリン住宅地図三重県津市	1	201309
291.56	ゼンリン住宅地図三重県伊賀市	3	201306
291.61	ゼンリン住宅地図滋賀県甲賀市	1	201112
291.61	滋賀県道路地図		201300
291.62	ゼンリン住宅地図京都府京都市	9	201111
291.62	ゼンリン住宅地図京都府城陽市		201203
291.62	ゼンリン住宅地図京都府相楽郡笠置町 和東町 南山城村		201204
291.62	ゼンリン住宅地図京都府京都市	10	201104
291.62	ゼンリン住宅地図京都府宇治市		201203
291.62	ゼンリン住宅地図京都府京都市	6	201206
291.63	ブルーマップ大阪市城東区	[2008]	200811
291.63	ゼンリン住宅地図大阪府大阪市	11	201109
291.63	ゼンリン住宅地図大阪府堺市	5	201110
291.63	ゼンリン住宅地図大阪府堺市	6	201111
291.63	ゼンリン住宅地図大阪府和泉市		201203
291.63	ブルーマップ大阪市淀川区		201210
291.63	ゼンリン住宅地図大阪府四條畷市		201204
291.63	ゼンリン住宅地図大阪府豊中市	1	201206
291.63	ゼンリン住宅地図大阪府八尾市		201205
291.63	ゼンリン住宅地図大阪府南河内郡太子町 河南町 千早赤阪村		201205
291.63	ゼンリン住宅地図大阪府大東市		201206
291.63	ブルーマップ大阪市東淀川区		201211
291.63	ブルーマップ大阪市東住吉区		201212
291.63	ブルーマップ大阪市阿倍野区		201212
291.63	ブルーマップ大阪市北区		201301
291.63	ブルーマップ大阪市此花区		201301
291.63	ゼンリン住宅地図大阪府大阪市	24	201304
291.63	ゼンリン住宅地図大阪府枚方市	1	201311
291.63	ゼンリン住宅地図大阪府寝屋川市		201312
291.63	ゼンリン住宅地図大阪府高槻市	1	201402
291.63	ゼンリン住宅地図大阪府大阪市	16	201404
291.63	ゼンリン住宅地図大阪府大阪市	20	201404
291.63	ゼンリン住宅地図大阪府大阪市	8	201407
291.63	ゼンリン住宅地図大阪府大阪市	15	201407

分類	タイトル	巻次	出版年
291. 63	ゼンリン住宅地図大阪府箕面市		201408
291. 63	ゼンリン住宅地図大阪府藤井寺市		201406
291. 63	ゼンリン住宅地図大阪府大阪市	10	201406
291. 63	ゼンリン住宅地図大阪府豊中市	2	201406
291. 63	ゼンリン住宅地図大阪府大阪市	23	201408
291. 63	ゼンリン住宅地図大阪府大阪市	21	201408
291. 63	ゼンリン住宅地図大阪府大阪市	24	201404
291. 63	ブルーマップ豊中市	1	201411
291. 64	ゼンリン住宅地図兵庫県伊丹市		201203
291. 64	ゼンリン住宅地図兵庫県宝塚市		201301
291. 64	ゼンリン住宅地図兵庫県神戸市	7-[1]	201205
291. 64	ゼンリン住宅地図兵庫県神戸市	7-[2]	201205
291. 64	ゼンリン住宅地図兵庫県尼崎市	1	201209
291. 64	ゼンリン住宅地図兵庫県西宮市	2	201208
291. 64	ゼンリン住宅地図兵庫県神戸市	5	201207
291. 65	ゼンリン住宅地図奈良県生駒市		201207
291. 65	ゼンリン住宅地図奈良県葛城市		201212
291. 65	ゼンリン住宅地図奈良県御所市		201301
291. 65	ゼンリン住宅地図奈良県大和高田市		201403
291. 66	ゼンリン住宅地図和歌山県西牟婁郡上富田町		201107
291. 66	ゼンリン住宅地図和歌山県和歌山市南		201107
291. 66	ゼンリン住宅地図和歌山県田辺市	2	201301
291. 66	和歌山県道路地図		201300
291. 73	島根県道路地図		201300
291. 83	愛媛県道路地図		201200
292. 2	近代中国都市案内集成	第 12 巻	201201
318. 036	全国市町村要覧	平成 26 年版	201411
318. 2	都市データパック	2014 年版	201407
322. 135	九条家本延喜式	2	201203
323. 97	土地収用裁決例集	平成 24 年度裁決	201406
324. 09	最高裁判所判例解説	平成 22 年度下	201402
332. 106	現代日本経済史年表		201202
335. 035	帝国データバンク会社年鑑	93 版(2013)東日本 2	201210
335. 035	東商信用録	平成 25 年版	201308
335. 035	役員四季報	2015 年版	201410
335. 5	海外進出企業総覧	2012 国別編	201204
335. 57	競争法の国際的執行		201309
338. 7	日本の消費者信用統計	平成 26 年版	201402
345. 5	路線価図	[2012]大阪府 1	201207
345. 5	路線価図	[2012]大阪府 16	201207
345. 5	路線価図	[2013]大阪府 16	201307
345. 5	路線価図	[2014]京都府 2	201407
345. 5	路線価図	[2014]大阪府 1	201407
349. 5	地方税関係通知実例集	平成 26 年	201407
351	データでみる県勢	2014	201312
351	民力	2014	201408
351	データでみる県勢	2015	201412
351. 66	和歌山県統計年鑑	平成 21 年刊行	200912
351. 66	和歌山県統計年鑑	平成 22 年刊行	201010
351. 66	和歌山県統計年鑑	平成 23 年刊行	201110
351. 66	和歌山県統計年鑑	平成 24 年刊行	201210
351. 66	和歌山県統計年鑑	平成 25 年刊行	201310
351. 97	鹿児島県統計年鑑	平成 24 年	201312
360. 8	定本見田宗介著作集	4	201208

分類	タイトル	巻次	出版年
361. 9	OECD 幸福度白書	[1]	201212
364. 4	介護報酬算定 Q&A		201211
365. 7	レジャー白書	2012	201210
365. 7	レジャー白書	2013	201308
365. 7	余暇・レジャー&観光総合統計	2014-2015	201308
366. 059	労働統計要覧	平成 23 年度	201206
366. 28	日雇・失業対策史資料	1	201206
366. 28	日雇・失業対策史資料	2	201206
366. 28	日雇・失業対策史資料	3	201206
366. 28	日雇・失業対策史資料	4	201206
366. 4	賃金センサス	平成 26 年版第 3 巻	201407
366. 46	賃金事情等総合調査	平成 25 年	201404
367. 2	女性の暮らしと生活意識データ集	2014	201406
367. 7	シニア白書	2011	201110
369. 033	21 世紀の現代社会福祉用語辞典		201303
369. 033	社会福祉用語辞典		201304
369. 1	社会福祉士及び介護福祉士法成立過程資料集	3	200805
369. 1	寄付白書	2012	201212
369. 2	生活保護手帳別冊問答集	2014	201408
369. 2	生活保護手帳	2014 年度版	201408
369. 26	介護・看護サービス統計データ集	2015	201410
369. 28	精神保健福祉白書	2015 年版	201411
371. 45	児童心理学の進歩	2014 年版	201406
373. 2	諸外国の教育行財政		201312
377. 21	大学ランキング	2013 年版	201204
377. 21	大学の實力	2013	201209
377. 21	大学ランキング	2014 年版	201304
377. 21	大学の實力	2014	201309
377. 21	大学ランキング	2015 年版	201404
380. 33	野外植物民俗事苑		201209
383. 1	FASHION		201310
383. 8	たべもの語源辞典		201209
385. 6	永代供養墓の本		201211
430. 36	化学便覧	応用化学編 1	201401
440. 59	天文年鑑	2014 年版	201311
470. 38	APG 原色牧野植物大図鑑	2	201303
491. 1	図解剖学事典		201310
492	今日の治療指針	2012	201201
492. 7	針灸治療大全		201405
492. 8	医療機器・用品年鑑	2012 年版 No. 3	201205
492. 8	医療機器・用品年鑑	2013 年版 No. 1	201306
493. 18	高齢者疾患の解説		201302
493. 72	今日の精神疾患治療指針		201202
494. 5	ホスピス緩和ケア白書	2014	201403
498. 059	国民衛生の動向	2014/2015	201408
498. 51	食品添加物便覧	2012 年版	201212
498. 55	栄養・健康データハンドブック	2014/2015	201404
499. 093	保険薬事典	平成 24 年 4 月版	201203
499. 093	保険薬事典 Plus+	平成 25 年 4 月版	201304
499. 093	保険薬事典 Plus+	平成 26 年 4 月版	201403
499. 1	JAPIC 一般用医薬品集	2013	201209
499. 1	JAPIC 一般用医薬品集	2014	201309

分類	タイトル	巻次	出版年
499. 1	JAPIC 医療用医薬品集	2015	201408
499. 1	JAPIC 一般用医薬品集	2015	201409
501. 48	カーボン製品市場の徹底分析		201112
501. 6	EDMC/エネルギー・経済統計要覧	2014 年版	201402
503. 5	工場ガイド	西日本	201201
505. 9	工業統計表	平成 22 年	201206
509. 29	日本立地総覧	2014 年版	201406
510. 93	公共事業予算	2014 年度	201406
513. 1	土木工事積算標準単価	平成 26 年度版	201408
518. 1	水道統計	第 95-1 号(平成 24 年 度)	201403
518. 21	推進工事中機械器具等損料参考資料	2014 年度版	201404
518. 8	滋賀県都市計画地図集	平成 24 年版	201203
526. 3	公共建築工事積算基準	平成 25 年版	201306
535. 8	光学技術の事典		201408
547. 51	EMC・ノイズ対策市場の実態と将来展望	2014	201405
549. 036	電子機器年鑑	2015	201410
549. 8	半導体産業計画総覧	2014-2015 年度版	201409
570	日本における 1 社製造化学品に関する調査	2011 年版	201100
575. 46	LP ガス資料年報	VOL. 49(2014 年版)	201403
575. 6	日本の石油化学工業 50 年データ集		201112
578. 2	ゴム年鑑	2014 年版	201312
586. 059	経済産業省生産動態統計年報	平成 25 年	201407
588. 033	食品産業事典	下巻	201309
603. 6	業種別業界情報	2014 年版	201401
673. 3	自動販売フルオペ事業総合資料	2012 年版 専門オペレ ータ篇	201210
673. 8	全国大型小売店総覧	2014	201308
673. 8	全国大型小売店総覧	2015	201409
673. 8	日本スーパー名鑑	2015 年版 店舗編 1 巻	201411
673. 8	日本スーパー名鑑	2015 年版 店舗編 5 巻	201411
673. 9	不動産白書	2014	201400
678. 3	関税六法	平成 25 年度版	201308
686. 059	鉄道統計年報	平成 23 年度	201402
686. 21	鉄道要覧	平成 26 年度	201409
686. 52	駅別乗降者数総覧	'14	201410
702. 17	奈良時代の東大寺		201110
709. 1	事典・日本の地域遺産		201301
767. 8	全音歌謡曲大全集	9	200110
773. 033	能楽大事典		201201
778. 09	動画配信ビジネス調査報告書	2014	201405
780. 36	スポーツ大図鑑		201405
810. 33	日本語大事典	下	201411
810. 33	日本語大事典	上	201411
813. 1	岩波国語辞典		201111
813. 1	新明解国語辞典		201201
813. 1	集英社国語辞典		201212
813. 1	学研現代新国語辞典		201212
821. 2	漢字語源語義辞典		201409
910. 4	国文学年次別論文集	近代 4 平成 22(2010) 年	201310
918. 68	小田実全集	評論第 28 巻	201303
918. 68	佐々木基一全集	5	201306

大分類	小分類	合計			学生向け			研究書			資格試験用			実務者向け			全般			入門書			
		掲載	中央	中之島	掲載	中央	中之島	掲載	中央	中之島	掲載	中央	中之島	掲載	中央	中之島	掲載	中央	中之島	掲載	中央	中之島	
刑事訴訟法	刑事訴訟法	141	80	2	44	20	1	24	20	0	1	0	0	60	33	1	8	4	0	4	3	0	
	少年法	19	13	0	3	2	0	6	4	0				5	3	0	1	1	0	4	3	0	
	外国の刑事訴訟法	18	10	0				14	6	0				2	2	0	1	1	0	1	1	0	
刑事訴訟法集計		178	103	2	47	22	1	44	30	0	1	0	0	67	38	1	10	6	0	9	7	0	
労働法	労働法一般	145	61	24	47	22	4	17	11	0	3	0	0	52	24	11	11	2	4	15	2	5	
	労働基準法	18	7	6	2	1	0	1	1	0				13	4	6	1	1	0	1	0	0	
	労働組合法	3	3	0	1	1	0							1	1	0				1	1	0	
	労働諸法	21	11	4	1	1	0	2	1	0				17	9	3	1	0	1				
	外国の労働法	11	6	2	1	1	0	7	4	0				3	1	2							
労働法集計		198	88	36	52	26	4	27	17	0	3	0	0	86	39	22	13	3	5	17	3	5	
社会保険法		61	29	2	15	6	0	16	13	0				15	6	0	10	3	2	5	1	0	
社会保険法集計		61	29	2	15	6	0	16	13	0	0	0	0	15	6	0	10	3	2	5	1	0	
産業・経済法	独占禁止法	39	21	7	17	6	3	8	8	0				12	7	3					2	0	1
	農林水産業法	1	0	0										1	0	0							
	鉱工業法	1	0	0										1	0	0							
	公害法・工業関係法	6	0	0				1	0	0				5	0	0							
	運輸法	14	5	0	1	0	0				4	2	0	9	3	0							
産業・経済法集計		61	26	7	18	6	3	9	8	0	4	2	0	28	10	3	0	0	0	2	0	1	
知的財産法		127	74	14	33	27	0	26	16	0	4	0	0	60	30	14	3	1	0	1	0	0	
知的財産法集計		127	74	14	33	27	0	26	16	0	4	0	0	60	30	14	3	1	0	1	0	0	
環境法		46	25	0	14	7	0	15	6	0				6	4	0	7	7	0	4	1	0	
環境法集計		46	25	0	14	7	0	15	6	0	0	0	0	6	4	0	7	7	0	4	1	0	
消費者法		19	11	3	7	4	0	3	3	0				4	3	1	4	1	2	1	0	0	
消費者法集計		19	11	3	7	4	0	3	3	0	0	0	0	4	3	1	4	1	2	1	0	0	
情報・メディア法		28	16	3	8	4	0	6	5	0				9	4	3	5	3	0				
情報・メディア法集計		28	16	3	8	4	0	6	5	0	0	0	0	9	4	3	5	3	0	0	0	0	
国際法	国際法一般	81	35	6	23	10	0	28	14	0				14	5	6	10	4	0	6	2	0	
	国際条約	35	18	2	5	2	0	12	4	0				7	4	1	10	7	1	1	1	0	
	国際機関法	6	1	0	1	1	0	5	0	0													
	国際紛争の処理	17	8	1	2	0	0	9	6	0				4	2	1	1	0	0	1	0	0	
	国際私法	29	18	1	13	7	1	7	5	0	1	0	0	4	4	0	3	1	0	1	1	0	
	国籍法・外国人法	21	14	0	3	2	0	4	3	0				11	7	0	3	2	0				
	国際経済法	22	13	4	7	4	0	6	5	0				9	4	4							
国際法集計		236	114	22	66	31	3	72	37	0	1	0	0	58	27	18	29	15	1	10	4	0	
法律事務・書式	訴訟	43	22	2										37	21	2	2	0	0	4	1	0	
	不動産	28	5	0	1	1	0							26	4	0	1	0	0				
	商事	34	15	4										34	15	4							
	その他-法律事務・書式	37	8	7				1	1	0	1	0	0	29	5	6	4	2	1	2	0	0	
法律事務・書式集計		142	50	13	1	1	0	1	1	0	1	0	0	126	45	12	7	2	1	6	1	0	
その他		63	22	7	14	5	0	9	7	0	2	0	0	21	6	6	4	2	0	13	2	1	
その他集計		63	22	7	14	5	0	9	7	0	2	0	0	21	6	6	4	2	0	13	2	1	
政治一般		56	36	1	20	6	0	18	14	1				1	1	0	12	10	0	5	5	0	
政治一般集計		56	36	1	20	6	0	18	14	1	0	0	0	1	1	0	12	10	0	5	5	0	
政治学・政治思想	政治理論・政治学	92	51	0	38	20	0	45	29	0							6	1	0	3	1	0	
	政治思想史	51	30	0	11	6	0	35	22	0							4	2	0	1	0	0	
政治学・政治思想集計		143	81	0	49	26	0	80	51	0	0	0	0	0	0	0	10	3	0	4	1	0	
政治史・各国の政治	政治史	40	27	0	7	4	0	22	16	0							10	6	0	1	1	0	
	各国の政治	119	76	0	29	19	0	69	43	0							13	10	0	8	4	0	
政治史・各国の政治集計		179	114	0	37	24	0	101	63	0	0	0	0	0	0	0	32	22	0	9	5	0	
国家の形態・政治体制	国家の形態	9	6	0	1	0	0	8	6	0													
	選挙・政党	17	16	0	2	2	0	8	7	0				1	1	0	3	3	0	3	3	0	
	民族問題	11	8	0	1	1	0	9	6	0										1	1	0	
国家の形態・政治体制集計		37	30	0	4	3	0	25	19	0	0	0	0	1	1	0	3	3	0	4	4	0	
行政・地方自治	行政学	31	13	0	11	4	0	16	7	0				1	1	0	1	0	0	2	1	0	
	行政管理	1	1	0	1	1	0																
	行政組織	1	0	0													1	0	0				
	行政事務・監査	1	0	0																			
	地方制度・条例	24	8	0				21	5	0				1	1	0	2	2	0				
行政・地方自治集計		123	63	1	26	14	0	70	29	0	0	0	0	9	8	0	13	8	1	5	4	0	
外交・国際関係		224	123	0	81	45	0	96	47	0				4	3	0	28	18	0	15	10	0	
外交・国際関係集計		224	123	0	81	45	0	96	47	0	0	0	0	4	3	0	28	18	0	15	10	0	
雑誌		17	0	0	1	0	0	13	0	0				3	0	0							
雑誌集計		17	0	0	1	0	0	13	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	
総計		4,771	2,194	273	1,361	568	33	1,295	748	15	149	12	5	1,098	462	180	525	285	24	343	119	16	

※「学生向け」「研究書」等の属性については、1タイトルに複数付与されているものがあるため、総計は掲載タイトル数と一致しない。

【巻末表④】「日本医書出版協会書誌データ」(2015年10月現在)掲載図書の所蔵状況
(平成27年12月現在) ※所蔵数の下段は、掲載数に対する所蔵数の割合(%)

	～5,000円		～10,000円		～15,000円		～20,000円		～50,000円		50,001円～		合計	
	掲載数	所蔵数	掲載数	所蔵数	掲載数	所蔵数	掲載数	所蔵数	掲載数	所蔵数	掲載数	所蔵数	掲載数	所蔵数
基礎医学														
基礎医学一般	48	23 47.9	6	2 33.3	2	1 50.0	7	6 85.7	2	1 50.0			65	33 50.8
解剖学	95	6 6.3	65	18 27.7	21	8 38.1	8	1 12.5	9	0 0.0	1	0 0.0	199	33 16.6
組織学・発生学	10	1 10.0	21	2 9.5	4	1 25.0	1	0 0.0	1	0 0.0			37	4 10.8
生理学	49	3 6.1	18	3 16.7	3	2 66.7			1	1 100			71	9 12.7
生化学	50	2 4.0	27	9 33.3	2	1 50.0	1	1 100					80	13 16.3
薬理学	17	3 17.6	16	5 31.3	3	0 0.0	1	1 100					37	9 24.3
病理学	22	1 4.5	18	1 5.6	21	2 9.5	24	0 0.0	5	0 0.0			90	4 4.4
病原微生物学(細菌・ウイルス・真菌)	31	7 22.6	21	6 28.6	4	0 0.0	1	1 100					57	14 24.6
医動物学(寄生虫)	2	0 0.0	5	0 0.0	1	0 0.0							8	0 0.0
免疫学・血清学	26	7 26.9	21	6 28.6	3	1 33.3							50	14 28.0
法医学	5	2 40.0	13	6 46.2									18	8 44.4
基礎医学関連科学														
基礎医学関連科学一般	27	9 33.3	11	1 9.1	1	0 0.0							39	10 25.6
生命科学(ライフサイエンス)	110	39 35.5	52	23 44.2	2	2 100	2	2 100		2	1 50.0		168	67 39.9
生物学・分子生物学	60	29 48.3	30	10 33.3	6	3 50.0			1	0 0.0			97	42 43.3
細胞学・細胞工学	21	5 23.8	11	4 36.4			1	0 0.0	1	0 0.0			34	9 26.5
遺伝学・遺伝子工学	27	10 37.0	10	3 30.0	3	0 0.0	1	0 0.0	2	1 50.0			43	14 32.6
人類遺伝学	9	5 55.6	1	1 100	1	0 0.0			1	0 0.0			12	6 50.0
ME(医用工学)・医用材料	116	16 13.8	20	3 15.0	1	1 100			4	0 0.0			141	20 14.2
顕微鏡・電子顕微鏡	3	0 0.0	1	1 100			1	0 0.0					5	1 20.0
実験動物	3	1 33.3	1	1 100									4	2 50.0
臨床医学：基礎系														
臨床薬理学	9	1 11.1	5	0 0.0	1	0 0.0			1	1 100			16	2 12.5
臨床病理学	2	0 0.0	12	0 0.0	3	0 0.0			4	0 0.0			21	0 0.0
臨床細胞学	3	0 0.0	3	0 0.0					1	0 0.0			7	0 0.0
臨床免疫学	5	1 20.0	1	0 0.0	1	0 0.0			1	0 0.0			8	1 12.5
臨床医学：一般														
臨床医学一般	200	33 16.5	51	6 11.8	6	1 16.7	4	0 0.0	3	1 33.3			264	41 15.5
診断学一般	42	7 16.7	33	5 15.2	1	0 0.0	2	1 50.0	2	0 0.0			80	13 16.3
臨床検査診断学	55	7 12.7	30	5 16.7	2	0 0.0	1	1 100					88	13 14.8
画像医学・超音波医学	138	6 4.3	200	3 1.5	30	1 3.3	10	0 0.0	4	0 0.0	1	0 0.0	383	10 2.6
治療一般	15	3 20.0	5	0 0.0	2	0 0.0	7	0 0.0					29	3 10.3

	～5,000円		～10,000円		～15,000円		～20,000円		～50,000円		50,001円～		合計	
	掲載数	所蔵数	掲載数	所蔵数	掲載数	所蔵数	掲載数	所蔵数	掲載数	所蔵数	掲載数	所蔵数	掲載数	所蔵数
プライマリケア医学	65	14 21.5	28	7 25.0	2	0 0.0							95	21 22.1
救命・救急医学	201	36 17.9	79	11 13.9	10	2 20.0	3	0 0.0	2	0 0.0	1	0 0.0	296	49 16.6
集中治療医学 (ICU・CCU)	41	3 7.3	45	3 6.7	6	1 16.7	1	0 0.0	1	0 0.0			94	7 7.4
放射線医学・核医学	67	13 19.4	50	2 4.0	9	1 11.1	1	0 0.0					127	16 12.6
癌・腫瘍一般	283	87 30.7	109	21 19.3	12	1 8.3	16	4 25.0					420	113 26.9
栄養・食事療法・輸液・輸血	109	19 17.4	22	2 9.1	3	1 33.3	3	1 33.3	2	0 0.0			139	23 16.5
薬物療法	102	21 20.6	26	8 30.8	1	0 0.0	1	0 0.0					130	29 22.3
東洋医学	87	26 29.9	41	12 29.3	8	2 25.0	3	1 33.3	5	0 0.0			144	41 28.5
臨床医学：内科系														
内科学一般	103	16 15.5	63	4 6.3	4	1 25.0	7	0 0.0	11	0 0.0			188	21 11.2
感染症・AIDS	174	47 27.0	41	2 4.9	5	2 40.0	1	1 100	2	0 0.0			223	52 23.3
アレルギー	25	4 16.0	9	3 33.3	1	0 0.0	1	1 100	2	1 50.0			38	9 23.7
内分泌・代謝	71	9 12.7	44	6 13.6	3	0 0.0			1	0 0.0			119	15 12.6
糖尿病	178	26 14.6	42	5 11.9	2	0 0.0	2	1 50.0	1	0 0.0			225	32 14.2
腎臓	189	32 16.9	79	7 8.9	9	1 11.1	4	0 0.0	2	0 0.0			283	40 14.1
血液	76	5 6.6	73	3 4.1	13	0 0.0	3	0 0.0	4	1 25.0			169	9 5.3
膠原病・リウマチ	44	5 11.4	44	3 6.8			2	1 50.0					90	9 10.0
老人医学	53	14 26.4	17	3 17.6	1	1 100	2	0 0.0					73	18 24.7
脳神経科学・神経内科学	219	49 22.4	157	25 15.9	46	14 30.4	20	1 5.0	9	0 0.0			451	89 19.7
精神医学	414	132 31.9	166	49 29.5	27	10 37.0	8	3 37.5	35	1 2.9			650	195 30.0
心身医学・臨床心理学	112	17 15.2	12	2 16.7	3	0 0.0	1	1 100	1	0 0.0			129	20 15.5
呼吸器一般	114	15 13.2	74	5 6.8	11	1 9.1	3	0 0.0	1	0 0.0			203	21 10.3
胸部疾患	14	3 21.4	12	0 0.0	2	0 0.0	1	0 0.0					29	3 10.3
気管食道科学	4	0 0.0	3	0 0.0									7	0 0.0
循環器一般	88	6 6.8	144	5 3.5	36	3 8.3	3	0 0.0	1	0 0.0	1	0 0.0	273	14 5.1
心臓	45	10 22.2	57	2 3.5	7	0 0.0	16	0 0.0	4	0 0.0			129	12 9.3
心電図・心音図・心エコー	74	0 0.0	38	2 5.3	4	0 0.0	1	0 0.0	2	0 0.0			119	2 1.7
血管 (脳血管・心血管・血圧)	37	1 2.7	23	1 4.3	6	0 0.0	1	0 0.0					67	2 3.0
消化器一般	106	19 17.9	74	0 0.0	18	0 0.0	6	1 16.7	5	0 0.0			209	20 9.6
胃・腸	36	4 11.1	51	0 0.0	19	1 5.3	6	0 0.0	1	0 0.0			113	5 4.4
肝・胆・膵	72	18 25.0	42	3 7.1	12	0 0.0	3	0 0.0	2	0 0.0			131	21 16.0
小児科学一般	258	72 27.9	184	34 18.5	22	4 18.2	4	1 25.0	7	0 0.0	1	0 0.0	476	111 23.3
周産期医学 (新生児学)	29	7 24.1	28	1 3.6	2	0 0.0			4	0 0.0			63	8 12.7
皮膚科学	48	9 18.8	96	13 13.5	44	4 9.1	21	1 4.8	40	1 2.5			249	28 11.2

	～5,000円		～10,000円		～15,000円		～20,000円		～50,000円		50,001円～		合計	
	掲載数	所蔵数	掲載数	所蔵数	掲載数	所蔵数	掲載数	所蔵数	掲載数	所蔵数	掲載数	所蔵数	掲載数	所蔵数
臨床医学：外科系														
外科学一般	37	7 18.9	51	2 3.9	18	0 0.0	13	0 0.0	4	0 0.0			123	9 7.3
脳神経外科学	29	3 10.3	49	1 2.0	56	0 0.0	18	0 0.0	32	0 0.0	1	0 0.0	185	4 2.2
胸部外科学	9	0 0.0	7	0 0.0	7	0 0.0	5	0 0.0	4	0 0.0	1	0 0.0	33	0 0.0
心臓・血管外科学	11	0 0.0	15	0 0.0	6	0 0.0	8	0 0.0	9	0 0.0			49	0 0.0
消化器外科学	22	7 31.8	52	3 5.8	56	1 1.8	8	0 0.0	10	2 20.0	1	0 0.0	149	13 8.7
小児外科学	4	2 50.0	5	2 40.0			1	0 0.0	1	1 100			11	5 45.5
形成外科学	14	6 42.9	22	1 4.5	24	2 8.3	22	0 0.0	17	0 0.0	1	0 0.0	100	9 9.0
移植・人工臓器	6	3 50.0	5	0 0.0					2	1 50.0			13	4 30.8
整形外科	115	23 20.0	172	8 4.7	70	2 2.9	45	5 11.1	70	21 30.0	4	0 0.0	476	59 12.4
災害医学	13	7 53.8	7	5 71.4	1	0 0.0							21	12 57.1
スポーツ医学	78	17 21.8	33	8 24.2	7	1 14.3	4	2 50.0					122	28 23.0
リハビリテーション 医学	285	69 24.2	129	24 18.6	9	2 22.2	3	1 33.3	4	1 25.0	1	0 0.0	431	97 22.5
産婦人科学	67	12 17.9	84	9 10.7	48	5 10.4	10	0 0.0	34	0 0.0			243	26 10.7
眼科学	34	7 20.6	89	2 2.2	84	1 1.2	45	0 0.0	32	0 0.0	2	0 0.0	286	10 3.5
耳鼻咽喉科学・頭頸部 外科学	85	15 17.6	33	4 12.1	23	0 0.0	7	1 14.3	31	0 0.0			179	20 11.2
泌尿器科学	45	12 26.7	31	1 3.2	24	1 4.2	5	0 0.0	4	0 0.0			109	14 12.8
口腔外科学	3	0 0.0	2	0 0.0	2	0 0.0			1	1 100			8	1 12.5
麻酔科学・ペインクリ ニック	168	16 9.5	178	8 4.5	29	1 3.4	12	0 0.0	4	1 25.0	1	0 0.0	392	26 6.6
医学一般														
医学一般	317	101 31.9	13	2 15.4	2	0 0.0	2	0 0.0	1	1 100			335	104 31.0
医学概論	33	8 24.2	20	20 100									53	28 52.8
医療制度（医事法制・ 医療経済）	75	31 41.3	4	1 25.0					2	1 50.0			81	33 40.7
医療社会学	18	9 50.0	1	1 100									19	10 52.6
病院管理学	95	26 27.4	3	0 0.0	1	0 0.0			9	1 11.1			108	27 25.0
医療統計学	117	15 12.8	15	3 20.0	1	1 100			1	0 0.0			134	19 14.2
医学情報学	66	9 13.6	1	0 0.0									67	9 13.4
医学教育	77	8 10.4	14	1 7.1									91	9 9.9
医師国家試験	79	0 0.0	8	0 0.0	6	0 0.0							93	0 0.0
事典・辞典・語学	137	16 11.7	38	12 31.6	12	4 33.3	4	3 75.0	9	2 22.2	4	0 0.0	204	37 18.1
医学史	47	12 25.5	19	8 42.1	5	2 40.0	1	1 100					72	23 31.9
医学随想	61	6 9.8	2	1 50.0									63	7 11.1
衛生・公衆衛生学														
衛生学	2	0 0.0											2	0 0.0
公衆衛生学	44	11 25.0	3	1 33.3									47	12 25.5

	～5,000円		～10,000円		～15,000円		～20,000円		～50,000円		50,001円～		合計	
	掲載数	所蔵数	掲載数	所蔵数	掲載数	所蔵数	掲載数	所蔵数	掲載数	所蔵数	掲載数	所蔵数	掲載数	所蔵数
環境医学・産業医学・疫学	45	14 31.1	7	2 28.6					2	1 50.0			54	17 31.5
地域医療	11	3 27.3	1	0 0.0									12	3 25.0
予防医学・健康管理・患者指導	54	12 22.2	6	3 50.0	1	0 0.0	1	0 0.0					62	15 24.2
食品衛生	9	0 0.0	1	1 100					4	4 100			14	5 35.7
医療技術														
臨床検査技術	94	7 7.4	55	4 7.3			1	0 0.0	1	0 0.0			151	11 7.3
臨床放射線技術	83	2 2.4	58	3 5.2	1	0 0.0	1	0 0.0					143	5 3.5
リハビリテーション技術	556	85 15.3	237	36 15.2	13	3 23.1			3	1 33.3	1	0 0.0	810	125 15.4
鍼灸療法技術	77	23 29.9	29	11 37.9	1	0 0.0	2	1 50.0					109	35 32.1
介護・福祉	193	35 18.1	3	2 66.7									196	37 18.9
看護学														
看護学一般	387	67 17.3	21	8 38.1	4	3 75.0							412	78 18.9
看護管理	95	9 9.5	1	0 0.0									96	9 9.4
看護教育・看護研究	450	83 18.4	24	6 25.0									474	89 18.8
臨床看護・成人看護・老人看護	685	72 10.5	45	10 22.2	19	5 26.3					1	0 0.0	750	87 11.6
小児看護	46	13 28.3	10	2 20.0									56	15 26.8
母性看護	59	12 20.3	9	2 22.2									68	14 20.6
公衆衛生看護・地域看護	82	14 17.1											82	14 17.1
保健・体育														
保健学一般	14	2 14.3	1	0 0.0									15	2 13.3
母性保健・小児保健・育児学	60	12 20.0	3	0 0.0									63	12 19.0
学校保健	13	0 0.0	4	1 25.0									17	1 5.9
体育学一般	63	13 20.6	3	1 33.3									66	14 21.2
栄養学														
栄養学一般	298	32 10.7	14	4 28.6	1	0 0.0	3	1 33.3	2	1 50.0			318	38 11.9
薬学														
薬学一般	176	37 21.0	39	6 15.4	3	2 66.7	3	1 33.3	5	2 40.0			226	48 21.2
基礎薬学	51	9 17.6	32	2 6.3	1	0 0.0							84	11 13.1
薬剤学	8	2 25.0	16	3 18.8	1	0 0.0			1	0 0.0			26	5 19.2
薬物学	9	3 33.3	4	0 0.0									13	3 23.1
処方・薬局	98	25 25.5	13	9 69.2	1	0 0.0	1	0 0.0					113	34 30.1
歯科学														
歯科学一般	30	5 16.7	14	2 14.3	1	1 100	1	1 100	1	0 0.0			47	9 19.1
基礎歯科学	4	2 50.0	8	0 0.0	5	1 20.0	1	0 0.0					18	3 16.7
臨床歯科学	33	4 12.1	27	2 7.4	9	0 0.0	1	0 0.0	3	0 0.0			73	6 8.2
合計	10,714	2,021 18.9	4,471	616 13.8	1,021	112 10.9	444	49 11.0	491	51 10.4	25	1 4.0	17,169	2,850

